



仙台商工会議所
130年の歩み
SINCE 1891

仙台商工会議所

ごあいさつ

仙台商工会議所
会頭 鎌田 宏



仙台商工会議所は、2021年、創立130周年を迎えました。

明治24年(1891年)に、関東以北では最初の商業会議所として発足して以来、地域のリーダーとして、明治・大正・昭和・平成そして令和へと、激動の時代に、地域産業を支え、商工業の発展と地域振興に取り組み乗り越えてまいりました。これも偏に、歴代会頭をはじめ役員・議員・会員の皆様のご尽力と国・宮城県・仙台市などの絶大なご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当所の歴史につきましては、1991年の創立100周年に「仙台商工会議所百年史」が取りまとめられ、それ以降の刊行がないまま現在に至っております。今回、創立130周年を迎えるに当たり、創立100周年以降の平成4年度(1992年度)から令和2年度(2020年度)までの活動の記録を中心に「仙台商工会議所130年の歩み」として取りまとめました。

130年という歴史の中で、国内外における経済状況は、第1次・2次世界大戦、オイルショック、バブル経済崩壊、リーマンショック、東日本大震災など幾多の試練がありましたが、特に、東北経済に大きな衝撃を与えたのが平成23年3月11日に発生した東日本大震災です。当所では、「東北における被災地の復興なくして仙台の発展なし」という考え方に立ち、日本商工会議所、全国の商工会議所、東北六県・宮城県商工会議所連合会と緊密な連携を取りながら、「要望活動」や「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」、「販路回復・開拓支援事業」などを通し、被災事業者の一日も早い復旧・復興に取り組みました。また、交流人口の拡大と継続的な支援につなげるため、東北が一体となり復興に向けて歩む姿を国内外に発信し続けるプロモーションを展開し、地域の活性化に努めてまいりました。

現在、被災地では、復興状況に地域差はあるものの、ハード事業は概ね完了しており、風評・風化と復興後の地域の在り方が各地域共通の課題となっております。加えて、続発する自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大が地域経済に追い打ちをかけており、未だに打撃を受けた中小・小規模事業者等は大変厳しい状況が続いております。

仙台商工会議所は、地域総合経済団体として、この難局を乗り越えるため、被災企業の自立を支え、交流人口の拡大等により地域経済の再生・復興の完遂を果たすとともに、仙台のまちを新たなステージに押し上げ、魅力を高めながら地方創生と中小企業の活力強化に邁進してまいります。皆様からの一層のご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

仙 台 商 工 会 議 所 創 立 1 3 0 周 年



目 次

ごあいさつ	1
1. 歴代会頭	4
2. 仙台商工会議所130年の歩み	5
明治24年～平成3年度	6
平成4年度～	8
平成10年度～	14
平成15年度～	19
平成20年度～	24
平成25年度～	30
平成30年度～	35
令和元年度～	36
3. 会員数の推移	38
4. 年表	39

1 歴代会頭

	氏名	就任月
初代	早川 智寛	明治24年10月
2代	遠藤 敬止	明治28年12月
3代	伊澤 平蔵	明治37年7月
4代	八木 久兵衛	明治38年5月
5代	清野 喜平治	大正7年10月
6代	伊澤 平左衛門	大正12年8月
7代	山田 久右衛門	昭和5年1月
8代	伊澤 平左衛門	昭和8年4月
9代	三浦 善作	昭和9年7月
10代	中村 梅三	昭和10年2月
11代	茂泉 慎一	昭和18年10月
12代	桑原 幹根	昭和19年9月

	氏名	就任月
13代	板垣 金造	昭和21年3月
14代	伊勢 孝太郎	昭和21年10月
15代	板垣 金造	昭和22年1月
16代	吉田 英一	昭和22年10月
17代	内ヶ崎 賛五郎	昭和28年3月
18代	宮脇 参三	昭和34年7月
19代	伊澤 平勝	昭和42年7月
20代	氏家 榮一	昭和60年9月
21代	齋川 慶一郎	平成7年5月
22代	村松 巖	平成11年12月
23代	丸森 仲吾	平成16年11月
24代	鎌田 宏	平成22年11月



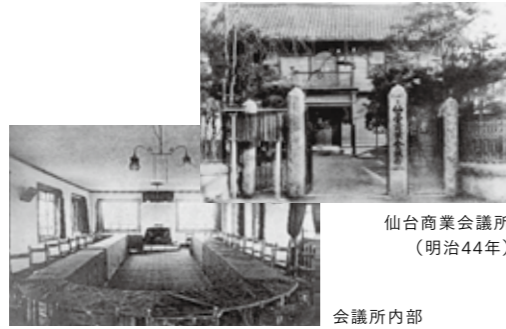
2 仙台商工会議所130年の歩み 明治24年(1891年)～令和2年度(2020年度)



明治24年(1891年)～平成3年度(1991年度)

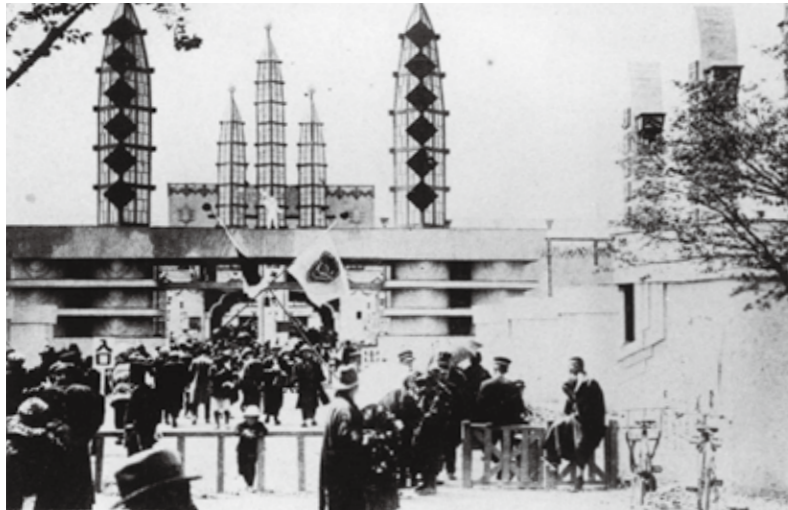


初代会頭 早川 智寛



仙台商業会議所
(明治44年)

会議所内部



東北産業博覧会主会場東正門(昭和3年)



戦前の東一番丁のにぎわい(昭和11年)



昭和天皇行幸と仙台七た
(昭和22年)



東一番丁のアーケード
(昭和29年)

[主な商工会議所の動き]

年	動き
明治 12	伊藤博文来仙 商法会議所設置の告諭文
18	仙台停車場宮城野原北案を現在地に変更運動
24	仙台商業会議所設立 会議所事務所を仙台市役所内に開設
26	仙台～山形鉄道敷設請願
27	仙台米穀取引所設立出願設立
33	関東東北商業会議所連合会開催
35	仙台に煙草製造所誘致運動
38	凶作対策で輸入米迅速輸送と運賃軽減建議(実現)
42	松島築港陳情請願
43	東北商業会議所連合会仙台で開催
44	会議所新伝馬町67に移転
大正 元	第1回奥羽北海道商業会議所連合会開催
2	仙台専売局開設実現
13	会館東二番丁に新築移転(現在地)
昭和 3	商工会議所法施行 東北産業博覧会・東北遺物展覧会開催 七夕コンクール復活・福引連合大売出し
4	満鮮視察団派遣 東北商工会議所連合会設立
5	商工記念日(国産愛用運動等を展開)
7	全国商工会議所理事会受入 東北振興会東北視察会受入(7～9年に3回)
12	統制経済政策(原材料の制限等)の円滑化協力
15	50周年記念興亜時局博覧会開催
18	宮城県商工経済会に改組
20	空襲により会館焼失 茂市ヶ坂国民金融公庫に仮事務所
21	仙台商工会議所に改組 宮城県商工業復興大会
22	珠算能力検定試験始まる 天皇陛下ご来仙 仙台七夕まつり復活
23	市と共催で新年名刺交換会
26	仙台商工花まつり・飛竜くじ大売出し
27	第7回国体仙台協賛会設立 仙台商工タイムス発刊 仙台花火大会開催
29	第1回宮城県工業振興祭 仙台防火委員会設置 第1回東北商工人軟式野球大会 特殊法人仙台商工会議所に改組
30	第1回優良従業員表彰
31	仙台青葉まつり開催 新会館落成・商業活動調整協議会設置

年	動き
昭和 34	多賀城町が会議所地区内に
35	仙台空港整備促進委員会設置 創立70周年記念式典
36	婦人部会設置・こけし塔建設
37	観光ガイド斡旋所設置
39	仙台卸団地建設委員会設置 東北工業開発試験所設立期同盟会設置
40	第1回東北地方科学技術振興会議
42	第2回東北北海道連絡会議受入
43	経済動向対策特別委員会設置
44	仙台空港ターミナル建設準備委員会設置
45	デベロッパー委員会設置 共済制度発足
46	第1回動く七夕パレード
48	小企業等経営改善資金制度(マル経)発足
49	仙台商店会青年部連合会設立
50	仙台駅高架下出店対策委員会設置
51	瑞鳳殿再建第1期工事完成
53	初のソウル直行国際チャーター便 会員5千件・会費1億円達成
55	新会館竣工
56	ホテル・旅館進出調整協議会設置
57	新幹線くじ大売出し
58	いらっしやいませありがとう運動実施
59	先端技術導入対策委員会設置
60	商業近代化地域計画策定 政令指定都市推進協議会設立 テレピア推進協議会設立 仙台市制百周年記念事業検討委員会設置
61	コミネット仙台設立 仙台光のページェント開催
62	仙台青葉まつり復活 未来の東北博覧会開催 コンベンションビューロー設立
63	会議所創立百周年記念事業検討委員会設置 仙台城址整備構想検討委員会設置
平成 元	会議所創立百周年記念事業特別委員会設置
2	宮城EC協会設立 会員1万件達成
3	仙台空港3km滑走路実現期成会設立 創立100周年 副会頭5人制となる 第21回日米市長及び商工会議所会頭会議仙台会議



仙台商工会議所新会館(昭和31年)



創立70周年記念式典(昭和35年)



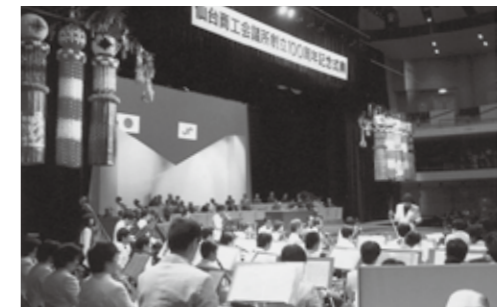
第1回動く七夕パレード(昭和46年)



仙台～ソウル間に東北初の国際チャーター便
(昭和53年)



未来の東北博覧会開会式(昭和62年)



仙台サンプラザで開催した
創立100周年記念式典
(平成3年)



第21回日米市長及び商工会議所会頭会議仙台会議(平成3年)



仙台商工会議所新会館(昭和55年)

平成4年度(1992年度)

【概要】

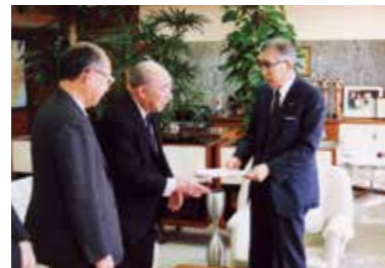
「商業と工業の均衡ある発展」「国際化の推進」「高度情報化・技術革新への対応」を柱に事業運営を行った。特に、「政令指定都市仙台の街づくり協議会」において、今後の街づくりの指針となる「政令指定都市仙台の街づくりの方向と提言」をまとめ発表したほか、「欧州における商店街形成とまちづくり調査団」をヨーロッパに派遣し、商店街形成の先進事例を調査した。また、情報化の面から商店街等の活性化を支援する「仙台地域商店街情報システム事業化研究会」並びに仙台地域流通VAN(付加価値通信網)の啓蒙普及を通じて地域流通業の近代化を促進する「コミネット-VAN高度化研究会」を設置し具現化に取り組んだ。さらに、仙台市内4地区で「一日中小企業相談所」を開設し、講演会、経営相談会など実施して経営改善普及事業のPRに努めた。仙台空港2,500m滑走路の供用開始、在仙台オーストラリア領事館や宮城県ソウル事務所の開設など、進展する国際化に対応するため、仙台空港定期路線拡充のためのミッションを派遣するとともにベルギーをはじめ19カ国からの表敬訪問を受け入れるなど国際交流事業に積極的に取り組んだ。交通運輸対策では、自動車専用道路網の整備促進や東北六県下2,476団体の賛同を得て「東北新幹線盛岡・青森間全線フル規格実現期成会」を設立し要望活動を展開した。

【主な事業活動】

4月	「政令指定都市仙台の街づくり協議会」が最終答申をまとめる
5月	「欧州における商店街形成とまちづくり調査団」を派遣(イギリス・フランス・ドイツ) 駐日ベルギー大使、駐日イスラエル大使が表敬訪問
7月	「仙台空港のCIQ体制の拡充に関する陳情」を関係各省へ実施
8月	「仙台都市圏自動車専用道路網の整備促進に関する陳情」を関係各省へ実施
9月	仙台空港エアポートセールス(北京・大連)を実施
10月	サービス強化運動「いらっしやいませ・ありがとう」感謝月間を実施 「一日中小企業相談所」を実施 「仙台商工会議所百年史」を刊行 「創業百年以上仙台のしにせ」を刊行
11月	「生涯学習国際シンポジウム'92inみやぎ」を開催
12月	「年末全市連合大売出し」の実施 運営委員会が部会再編成について答申を行い「不動産部会」の設置と「交通部会」を「交通運輸部会」と名称変更 「コミネット-VAN高度化研究会」を設置
2月	「仙台地域商店街情報システム事業化研究会」を設置 「優良従業員表彰式」を開催 「せんだいの夕べ」を東京で開催 「東北新幹線盛岡・青森間全線フル規格実現期成会」を設立 「工業振興シンポジウム」を開催
3月	仙台北城址整備検討専門委員会が「大手門建設の凍結期間に取り組むべき仙台北城址の整備」について答申し、仙台市長へ要望



「東北新幹線盛岡・青森間全線フル規格実現期成会」の設立総会を開催し、東北1千万人の声を一つにして活動していくことを確認した



良櫓の復原や大手門の基本設計作成など仙台北城址の答申実現を石井仙台市長(右)へ要望した



生涯学習国際シンポジウムを開催し、脚本家の橋田壽賀子氏を迎えたパネルディスカッションには550人がつめかけた



「一日中小企業相談所」を出張開設し、講演会や経営相談等を行い商工会議所が身近なものであることをPRした



駐日カナダ大使が仙台を表敬訪問し、氏家会頭と懇談

平成5年度(1993年度)

【概要】

仙台の街づくりを推進するため、「政令指定都市仙台の街づくり協議会」が策定した「政令指定都市仙台の街づくりの方向と提言」の具現化を図ることを目的に「政令指定都市仙台の街づくり推進協議会」を設立させ、具体的な事業の進め方について検討を行った。加えて、大型店出店については、「意見集約会議」で意見を集約し「商業まちづくり委員会」において商店街の整備を中心とした街づくりを促進した。意見活動では、仙台空港滑走路3,000m化の早期実現、海外定期路線の拡充、CIQ体制の拡充など国際空港化を目指した要望をはじめ、日本商工会議所を通じて景気対策、消費税、地価税、労働基準法に関する要望などを関係行政庁等へ実施し早期実現・解決に努めた。小規模事業者等に対しては、テレビ・ラジオ等で経営改善普及事業のPRに努めるとともに、商工相談員と密接な連携のもと、きめ細かい支援を行ったほか、「景気対策相談室」や「冷夏関連中小企業相談室」を設置して、経営・金融・雇用等の相談機能を強化した。部会活動では、部会再編成の答申に基づき、「不動産部会」が理財部会から独立し設置され7部会となったほか、工業部会で「工業振興フォーラム」を実施するなど、部会独自の講演会・懇談会・シンポジウム等が開催され部会活動の活性化がみられた。

【主な事業活動】

4月	「景気対策相談室」を設置 「商業まちづくり委員会」を開催(4月・6月・12月)
5月	「不動産部会」を設置 消費税率引き上げに反対する決議を行い、日商を通じて関係機関へ要望
6月	皇太子殿下ご成婚記念全市連合大売出し「おめでとうセール」を実施 「仙台北城址復元準備会」を設立
7月	「仙台空港3,000m滑走路拡張整備」と「CIQ体制の拡充」に関する陳情を関係各省へ実施 「仙石線地下化事業の早期完成」を宮城県等へ要望
10月	サービス強化運動「いらっしやいませ・ありがとう」感謝月間の実施 「冷夏関連中小企業相談室」を設置 「高齢者継続雇用地域推進事業」を開始
11月	「政令指定都市仙台の街づくり推進協議会」を設置 「仙台～ホノルル間の定期航空路開設」に関する陳情を運輸省へ実施
12月	「年末全市連合大売出し」を実施
1月	新春会員講演会(Jリーグ川淵チェアマン)を実施
2月	「仙台～北京間の定期航空路開設」に関する陳情を運輸省へ実施 「せんだいの夕べ」を東京で開催 「地球環境シンポジウム」を開催
3月	「工業振興フォーラム」を開催 文化観光部会観光情報誌「仙台 WE LOVE」をリニューアル



「不動産部会」が設置され、部会長には菅原萬氏(双葉総合開発)が就任した



恒例の「年末全市連合大売出し」に加え、皇太子殿下のご成婚を記念した大売出し「おめでとうセール」を実施し、抽選会では各賞が発表された



工業部会主催「工業振興フォーラム」では、人材育成や技術力向上について活発な意見交換が行われた



11年目を迎えたサービス強化運動の記念講演会に、漫画家・タレントのはらたいら氏を迎え、体験談をユーモアに語った



接客講習会には1,194人(4回)が受講し、10月の「いらっしやいませ・ありがとう」感謝月間には8,167事業所、45,118人が参加した

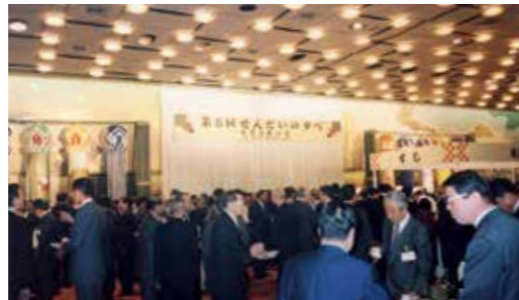
平成6年度(1994年度)

【概要】

国際化の推進を図るために、仙台港の整備と利用促進の強化が求められる中で、宮城県が事務局の「仙台国際貿易港整備促進協議会」を「仙台国際貿易港整備利用促進協議会」と名称を改め、会長に氏家会頭が就任し、事務局を当所に移管するなど官民あげた体制となった。加えて、交通運輸部会の決議をもとに「仙台国際貿易港利用促進委員会」を設置し、定期外貿コンテナ船の誘致と特定重要港湾の指定を目指した要望活動、ポートセールス等に積極的に取り組んだ。また、交通基盤整備では「東西線建設促進期成同盟会」において、東西線の早期建設を目指し10万人の署名運動を展開し、188,565人にのぼる個人署名、173団体の団体賛同署名を集め、仙台市長等関係先へ要望した。仙台北城址の整備では、「仙台北城大手門復原準備会」において大手門の基本設計をまとめ、大手門復原の早期実現、石垣修復工事の早期着工を仙台市長へ要望したほか、PRパンフレットを制作し広く啓蒙活動に努めた。また、伝統行事の仙台初売りは、小売商業部会からの要望により「商業懇話会」で検討し、昭和49年以来21年ぶりに正月3日から2日に変更され実施された。組織では、議員・役員改選期に当たり、氏家榮一会頭(七十七銀行常任相談役)が再任され4期目がスタート。また、通商産業省の「商工会議所事業運営点検基準」で、全国509商工会議所のうち満点の2会議所の一つとして当所が高い評価を得た。

【主な事業活動】

6月	「仙台国際貿易港整備利用促進協議会」の事務局を県庁から当所に移管 「商業懇話会」を開催(6月・8月・9月) 商業英語検定試験を初実施
7月	役員・議員の改選 「仙台北城大手門復原準備会」を開催し、大手門復原の基本設計に関する報告書をまとめ、10月に仙台市長へ要望 キーボード操作技能認定試験を初実施
9月	「宮城県における港湾と空港の整備に関する陳情」を関係省庁へ実施
10月	「不動産規制緩和特別委員会」を設置し、1月に土地取引の監視区域、地価税、容積率の緩和と土地利用の高度利用などの中間答申をまとめ、3月に仙台市長等へ要望 サービス強化運動「いらっしゃいませ・ありがとう」感謝月間を実施 「仙台国際貿易港利用促進委員会」を設置
11月	仙台国際貿易港海外ポートセールスを実施(ジャカルタ・シンガポール)
1月	仙台初売りを3日から昭和49年以来21年ぶりに2日に変更して開催 「仙台国際貿易港の整備並びに利用促進に関する要望」を仙台市長へ実施
2月	「せんだいの夕べ」を東京で開催
3月	賛同署名を提出し「東西線の建設促進」を仙台市長等へ要望



第6回「せんだいの夕べ」では、仙台市出身で俳優の菅原文太さんをはじめ600人を超える参加者に仙台の魅力を伝えた



不動産規制緩和の答申を受けて土地取引の監視区域制度の撤廃などを浅野宮城県知事(中央)へ要望



「東西線建設促進期成同盟会」で約18万8千人の署名を携えて東西線の早期建設を藤井仙台市長へ要望



21年ぶりに2日から開催された初売りには福袋や豪華景品を目当てに多くのお客様が列をなした



仙台北城大手門復原の基本設計が完成したのを受け、藤井仙台市長へ大手門復原の早期実現を要望する氏家会頭と大泉副会頭

平成7年度(1995年度)

【概要】

委員会活動の中で特に、経済動向対策委員会情報化対策小委員会では、情報化による地域経済活性化のため「マルチメディアに対する商工会議所の取り組みについて」の提言とアクションプランをまとめ、さらにそのフォローアップ事業として、宮城県・仙台市に対して「マルチメディア促進に対する行政等の支援に関する要望書」を提出し、マルチメディアを利用した地域の情報化に対する支援を要望したほか、商店街の活性化事業としてCD-ROMを媒体とした仙台の魅力を紹介する「仙台ウェルカムタウンガイド」の達人を開発し利用普及に努めた。大型店出店に対しては、「商業まちづくり委員会」で規制緩和についての意見交換を行うとともに、仙台初売りは、平成7年に正月3日から21年ぶりに見直され2日に実施されたが、再び実施日の見直しの声が上がって「商業懇話会」において検討の結果、平成8年は再び3日に戻して開催した。国際化対策として、仙台空港の航空路線拡充など本格的な国際空港化の推進等に取り組んだほか、仙台国際貿易港への定期外貿コンテナ船の誘致や国内外へのポートセールス、特定重要港湾の指定へ向けた要望活動など積極的に実施した。組織では、氏家会頭の辞任を受け、5月開催の通常議員総会で第21代会頭に齋川慶一郎氏(サイカワ代表取締役社長)が選任された。

【主な事業活動】

4月	「経済動向対策委員会情報化対策小委員会」を開催(4月・7月・11月・12月・3月) 「商業懇話会」を開催し、仙台初売りの実施日等について検討 「東西線の建設促進」を仙台市長等へ要望
5月	「通常議員総会」で第21代会頭に齋川慶一郎氏を選任 「米国コンピューター展&セミナー」を初開催
6月	「不動産規制緩和特別委員会」を開催し、不動産規制緩和に関する最終答申をまとめた
7月	「仙台空港の航空路線拡充」を関係機関へ要望 「仙台国際貿易港の整備促進に関する要望」を関係省庁へ実施
8月	「第19回国際珠算競技大会」を仙台で開催 戦後復活50回、七夕パレード25回を記念して「仙台七夕まつり」を開催
9月	「商業まちづくり委員会」を開催
10月	ビジネスコンピューティング検定試験を初実施 仙台国際貿易港ポートセールスを実施(バンクーバー・シアトル等)
11月	「仙台北城フォーラム」を開催 「小規模企業対策予算の確保に関する要望」を宮城県等へ実施 卸売商業部会で米国最新流通施設視察会(ニューヨーク・ロサンゼルス等)を実施
1月	仙台初売りを2日から3日に戻して開催(2日・3日分裂開催) 「マルチメディア促進に対する行政等の支援に関する要望書」を宮城県・仙台市長へ提出
2月	仙台の地域情報を紹介する「仙台ウェルカムタウンガイド」の達人(CD-ROM)を制作



仙台国際貿易港の北米航路開設に向けてバンクーバー、シアトル等へポートセールスを実施し仙台港のメリットをアピールした



25回を記念した七夕パレードで、オープンカーに乗車し観客に笑顔で手を振る齋川会頭とミス仙台



「仙台北城フォーラム」では、仙台北城復原に向け、今後の仙台北城整備事業の課題や取り組み方について活発な意見交換が行われた



在札幌米国総領事館と共催で開催した「米国コンピューター展&セミナー」には3千人が来場し最新技術を体験した



氏家会頭の辞任に伴い、5月通常議員総会で第21代会頭に選任され、挨拶をする齋川慶一郎氏



マルチメディア促進に対する支援を藤井仙台市長に強く要望する齋川会頭と和田情報化対策小委員長



日本・韓国・中華台北の3カ国が参加する「第19回国際珠算競技大会」が初めて仙台で開催され、トップレベルの妙技を堪能した

平成8年度(1996年度)

【概要】

マルチメディアを利用した高度情報化社会の産業活性化を図るため、「バーチャルモール推進協議会」を設立して、インターネット上にバーチャルモール(仮想の街)「Virtual City どりーむせんだい」を開設し、地域の観光・エンターテインメント情報、ビジネス情報等を広く内外に提供した。加えて、地域情報化・産業支援を目的とした「情報・産業プラザ」の整備要望や「米国コンピュータ展&セミナー」の開催など企業の情報化推進に努めた。経済動向対策委員会においては、国際・観光対策に関する「仙台の国際化と観光交流コンベンションについて」の第二次提言を「仙台空港」「仙台国際貿易港」「貿易・海外投資」「観光交流・コンベンション」の4項目に分けてまとめ、宮城県・仙台市並びに関係機関へ要望した。仙台城址の整備では、仙台城址整備検討専門委員会、仙台城大手門復原準備会、仙台城長櫓復原準備会の3委員会を一本化して「仙台城復元委員会」を設置し、全体計画策定へ向けた基本計画を検討した。また、七夕の発展を期するために、国内外で七夕まつりを開催する26都市(サンパウロ市と国内25都市)の関係者約400人の参加のもと、全国で初めて「全国七夕サミット」を開催し「仙台七夕まつり」を強く全国にアピールした。

【主な事業活動】

4月	「経済動向対策委員会国際・観光対策小委員会」を開催(4月・5月・6月・7月)し第二次提言をまとめ10月宮城県等へ要望
5月	「全国七夕サミット」を初開催 「仙台城復元委員会」を設置 仙台空港の航空路線拡充を関係機関等へ陳情 「欧州商業事情視察会」を実施 (仮称)おまつり会館の建設に関する陳情を仙台市等へ実施
6月	「不動産規制緩和特別委員会」を開催(6月・7月・12月)し地価税・固定資産税など不動産規制緩和に関する答申をまとめ関係当局へ要望
7月	情報・産業プラザ並びに起業家支援等の産業振興施策に関する要望を宮城県等へ実施 仙台国際貿易港の整備促進に関する陳情を関係各省へ実施
8月	「バーチャルモール推進協議会」を設置
9月	「米国コンピュータ展&セミナー」を開催
10月	「中小企業総決起大会」を開催
11月	「オーストラリアのまちづくりと商業事情視察会」を実施
1月	仙台初売りを3日から2日戻して全市的に足並み揃えて開催 「仙台七夕まつり」が第6回仙台市都市景観賞の大賞を受賞
3月	インターネット上にバーチャルモール「Virtual City どりーむせんだい」を開設し、地域情報を発信した



第1回全国七夕サミットが仙台市で開催され、「七夕フォーラム」では、各地の七夕の歴史や将来について活発な意見が交わされた



全国七夕サミットのオープニングとして仙台市博物館で七夕の起源「乞巧奠」を冷泉家より説明を受け披露した



藤井仙台市長に対し、アエル内に情報・産業プラザの整備や起業家支援の推進を強く要望した



仙台七夕まつりが第6回仙台市都市景観賞の大賞を受賞し、藤井仙台市長から表彰を受ける大泉仙台七夕まつり実行委員長



インターネット上にバーチャルモール「Virtual City どりーむせんだい」を開設し、地域情報を発信した



「仙台城復元委員会」を設立し仙台城復元の基本計画策定や経済界の立場で機運醸成を推進した

平成9年度(1997年度)

【概要】

議員・役員の改選期にあたり、齋川慶一郎会頭が再任され2期目がスタート。地域経済の発展のために、「景気対策」「大型店問題」「税制改正」等に関する要望をはじめ、「中小企業総決起大会」の開催や日本電信電話(株)の分離・分割に伴う東日本電信電話(株)の本社仙台誘致活動など当地域を取り巻く諸問題の早期実現・解決に努めた。また、11月に発生した徳陽シティ銀行営業譲渡問題に対応するため、「徳陽シティ銀行関連特別相談窓口」を設置し、小規模事業者の相談機能を強化した。さらに、商工業の立場から仙台の産業振興都市向上への具体的な提案を行うため「仙台21世紀ランドデザイン特別委員会」を設置して検討を行い、第1次答申「仙台のランドデザインの具体的な検討テーマに関する報告書」をまとめた。国際化対策として、仙台空港の旅客ターミナルビルグランドオープン、3,000m滑走路の供用開始や仙台国際貿易港の「北米西岸航路」の開設など整備が進む中で、さらなる利用促進と機能の拡充を求め陳情・要望活動に積極的に取り組んだほか、「国際ゆめ交流博覧会」を開催し、国際化時代における宮城・仙台の機能と可能性を世界にアピールした。また、新たに「貿易部会」を設置するとともに、仙台商工会議所のホームページを開設し、地域中小企業等への情報発信を行った。

【主な事業活動】

4月	エキスパートバンク事業を開始
5月	パリ開催フランス日本年「日本の祭」に仙台七夕まつりが参加 「東西線沿線の街づくりに関する提案」を仙台市等へ実施
6月	「国際経済交流サミット仙台会議第1回実行委員会」を開催 「仙台空港の運用時間延長に関する陳情」を関係各省へ実施 役員・議員の改選 「国際ゆめ交流博覧会」を開催 「東日本電信電話(株)本社仙台誘致委員会」を設置 「不動産規制緩和特別委員会」を開催(7月・9月)し、建築基準法の改正に係わる対応策について検討し、日本商工会議所を通じ関係当局へ要望 「仙台国際貿易港の整備に関する要望」を関係各省等へ実施
8月	「仙台21世紀ランドデザイン特別委員会」を設置し、3月に第1次答申をまとめた 「大型店問題と本店法の見直し」について関係省庁へ要望 「第6回都市景観大賞受賞」を記念して仙台七夕まつりを開催
9月	「中小企業総決起大会」を開催 「仙台城長櫓復元シンポジウム」を開催
10月	「商業倫理綱領」を策定
11月	「徳陽シティ銀行関連特別相談窓口」を設置 カラーコーディネーター検定試験を初実施
12月	当所がホームページを開設
2月	「米国コンピュータ展&セミナー」を開催
3月	「貿易部会」を設置 バーチャルモール1周年記念事業「街でマルチメディアを楽しもう」を開催



国際化時代に対応するため「貿易部会」を設置して、海外経済情報の提供など輸出入関連企業を支援



「不動産規制緩和特別委員会」では建築基準法改正に係わる答申を齋川会頭に提出



「東日本電信電話(株)本社仙台誘致委員会」を発足させ、誘致に向け力強く挨拶する齋川会頭



城を活かした街づくりや観光戦略等を考える「仙台城長櫓復元シンポジウム」を開催し、機運醸成を図った



仙台七夕まつりのJR仙台駅観光案内所では、初めて常盤木学園の生徒がボランティアとして案内・誘導を行った



宮城・仙台を国内外にアピールする「国際ゆめ交流博覧会」の開催セレモニー

平成10年度(1998年度)

【概要】

商工業の立場から新しい仙台の都市像の実現を図るため、「仙台21グランドデザイン特別委員会」の第1次答申「仙台のグランドデザインの具体的検討テーマに関する報告書」に基づき、「仙台都市圏土地利用検討委員会」「仙台街づくり・活性化検討委員会」(都心街づくり小委員会、都心隣接・周辺部街づくり小委員会)「仙台都市圏交通サービス検討委員会」「仙台都市圏産業振興策検討委員会」の4テーマ別検討委員会を設置し、仙台の街づくりを具現化するための検討を行った。仙台城址の整備では、「仙台城復元委員会」において、「仙台城復元基本計画」をまとめ、仙台城復元に向けた合意形成の考え方や施設復元順位等について提言するなど、体系的かつ統一的な仙台城復元の全体像を初めて示した。国際化対策では、経済・貿易・観光の振興をテーマに、「国際経済交流サミット仙台会議」を開催し、宮城県・仙台市と空路、航路で結ばれているアジア・太平洋地域から海外12地域79人を含む663人が参加し、ビジネス交流の拡大に大きな成果をあげた。また、商工会議所がインターネット活用など高度情報化社会に対応するため、職員1人1台のパソコンを導入しLANの構築を図るなど、効率的で迅速な業務の推進に努めた。

【主な事業活動】

6月	「商業まちづくり委員会」を開催
7月	「仙台国際貿易港の特定重要港湾昇格促進に関する要望」を関係省庁へ実施
8月	「仙台都市圏交通サービス検討委員会」を設置
9月	「中小企業危機突破総決起大会」を開催 仙台城復元委員会が「仙台城復元基本計画」をまとめた 小売商業部会米国最新流通事情視察会(ロサンゼルス周辺)を初実施 「仙台街づくり・活性化検討委員会」(都心街づくり小委員会、都心隣接・周辺部街づくり小委員会)を設置 「仙台都市圏産業振興策検討委員会」を設置 景気対策、中小企業対策、まちづくり3法の的確な対応など県内・東北の商工会議所と連携して関係行政省庁等へ要望
10月	「国際経済交流サミット仙台会議」を開催 「在仙事業所支店長さんのつどい」を初開催 齋川会頭が仙台初売りの正月2日からの実施を第一種大型店(9店舗)へ要請
11月	「仙台都市圏土地利用検討委員会」を設置 中小企業相談所に「金融特別相談窓口」を設置
1月	地域振興券を取り扱う特定事業者の登録業務を実施 (仮称)おまつり会館の建設に関する陳情を仙台市へ実施
2月	モデル駐車事業(共通駐車券システム)実証実験を実施



齋川会頭、浅野知事、藤井市長を中央に海外からの参加者が登壇して開催された「国際経済交流サミット仙台会議」の開会式



仙台21グランドデザインの具現化へ向けて設置された4委員会では活発な議論が行われた



仙台の四季を通じたお祭りを見学・体験できる滞留型の施設「(仮称)おまつり会館」の早期建設を藤井仙台市長(左)へ陳情



小売商業部会では、米国の最新流通事情を研究するために、ロサンゼルス周辺にある商業施設等の視察会を初めて開催した



「中小企業危機突破総決起大会」を開催し、中小企業対策や金融対策の抜本的強化等を訴えた

平成11年度(1999年度)

【概要】

仙台21グランドデザインでは「仙台都市圏土地利用検討委員会」「仙台街づくり・活性化検討委員会」(都心街づくり小委員会、都心隣接・周辺部街づくり小委員会)「仙台都市圏交通サービス検討委員会」「仙台都市圏産業振興策検討委員会」で引き続き検討し、仙台の街づくりの具現化へ向けた答申をまとめた。また、新たな「まちづくり3法」の中で、中心市街地活性化法、改正都市計画法が施行されたことから、街づくりの観点の具現化や商工会議所の意見・役割を重視した法運用が行われるよう要望活動を行った。特に、中心市街地活性化法に基づき仙台市が策定を進めてきた活性化基本計画に、意見を積極的に反映させるべく「仙台市中心市街地活性化戦略懇談会」を設置して意見の集約を図った。国際化対策では、「第11回日韓・韓日商工会議所会頭・会長会議」を開催し、両国経済の現状や中小企業活性化における商工会議所の役割等について熱心な意見交換が行われた。また、仙台空港定期便の周知並びに利用促進を図るため、国内線(4月)・国際線(10月)ミステリーツアーを実施し大きな成果をあげた。組織については、10月の齋川会頭辞任に伴い、12月臨時議員総会で新たに第22代会頭に村松巖氏(七十七銀行取締役会長)が選任された。

【主な事業活動】

4月	仙台空港発着路線の周知を図るため「仙台空港国内線ミステリーツアー」を実施(10月に国際線ミステリーツアーを実施)
5月	「商業まちづくり委員会」を開催(5月・9月)
7月	景気対策、中小企業対策、まちづくり3法の一体的運用など県内の商工会議所と連携して宮城県等へ要望
8月	「第11回日韓・韓日商工会議所会頭・会長会議」を仙台で開催 「仙台市中心市街地活性化戦略懇談会」を設置(5回開催)
10月	小売商業部会米国最新流通事情視察会(ロサンゼルス等)を実施 文化観光部会が香港視察会を実施 「中小企業活力強化総決起大会」を開催
11月	仙台街づくり・活性化検討委員会都心街づくり小委員会が「都心が都心であり続けるために」の答申をまとめる 大規模小売店舗立地法に関する担当者会議を開催(11月・12月・2月)
12月	創業塾を開催(10回)
2月	仙台都市圏土地利用検討委員会が「21世紀型都市圏“仙台の創造”仙台の新しい魅力づくり」の答申をまとめる 東西線建設促進期成同盟会が東西線の早期実現に関する陳情を仙台市へ実施
3月	仙台街づくり・活性化検討委員会都心隣接・周辺部街づくり小委員会が「街が選ばれる時代にタウンライフとビジネスの融合」の答申をまとめる 仙台都市圏交通サービス検討委員会が「仙台の都市活力を支える交通サービスをめざして」の答申をまとめる



12月臨時議員総会で第22代会頭に選任され挨拶する村松巖氏



日本と韓国の商工会議所間の友好親善と経済交流促進を図るため仙台で開催した「第11回日韓・韓日商工会議所会頭・会長会議」



景気対策やまちづくり3法への的確な対応などを県内の商工会議所と連携して宮城県等へ要望



仙台空港定期便の周知と利用促進を図るために開催された国内線(4月)・国際線(10月)ミステリーツアーでは目的地が発表されると大勢の参加者から大きな歓声があがった

事例研究や事業計画書の作成など実践的な講義を中心に行われた創業塾

平成12年度(2000年度)

【概要】

議員・役員の変更期にあたり、村松巖会頭が再任され2期目がスタート。平成13年の仙台開府四百年に対応するため、「仙台開府四百年記念事業推進協議会」を設立し、シンボルマークやキャッチフレーズの募集、「平成の遣欧使節団」(151人)をバチカン・イタリアへ派遣するなど3カ年の記念事業を開始した。加えて、1万2千人の来場者のもと、「仙台開府四百年記念オープニングイベント」を盛大に開催した。また、仙台城址整備については、「仙台城復元委員会」において、2度にわたる「仙台城長櫓の早期建設に関する要望」を行った結果、藤井仙台市長が長櫓の建設を表明した。前年度の「仙台21ランドデザイン特別委員会」答申の具現化を図り、急激な環境変化に即応的に対処するために「経済動向政策委員会」を設置し検討を進めた。また、6月に施行された大規模小売店舗立地法をはじめとする大型店出店に係る諸問題に対応するため「大規模小売店舗立地地検討委員会」を設置し、大型店と地域の生活環境の調和を図るなど、街づくりの促進に努めた。さらに、商店街の情報化推進を図るため、「仙台地域商店街等情報化推進協議会」を設立し、デビットカード一括決済サービスを稼働するとともに、普及のための各種研修会、ポイントシステムやコミュニティサービス等の研究を行った。

【主な事業活動】

4月	「仙台地域商店街等情報化推進協議会」を設置 「仙台開府四百年記念事業推進協議会」を設立
5月	福祉住環境コーディネーター検定試験を初実施
7月	役員・議員の改選 「大規模小売店舗立地地検討委員会」を設置 仙台都市圏産業振興策検討委員会が「活力とホスピタリティに満ちた世界都市仙台を目指して」の答申をまとめる 仙台開府四百年記念事業「平成の遣欧使節団」をバチカン・イタリアへ派遣 「仙台国際貿易港の特定重要港湾昇格に関する要望」を関係省庁へ実施
8月	「仙台城長櫓の早期建設に関する要望」を仙台市へ実施(10月も実施)
9月	仙台初売りの2日一斉実施に向けて知事・市長をはじめ関係機関へ「大型店による元旦営業自粛」の理解と支援を要請 当所の「婦人会」が「女性会」と名称を変更 創業塾を開催(10回) 景気対策、中小企業対策の拡充強化など県内・東北の商工会議所と連携して関係行政省庁等へ要望
10月	接客サービス向上運動「ミレニアムキャンペーン」を実施 「宮城県中小企業活力強化総決起大会」を開催 「在仙支店長・所長さんのつどい」を開催 電子商取引認証システム「オンラインマーク」審査機関(地域センター)として稼働
1月	「経済動向政策委員会」を設置
2月	「仙台開府四百年記念オープニングイベント」を開催



「仙台開府四百年記念推進協議会」を設立し、シンボルマークやキャッチフレーズを決定するなど3カ年の記念事業がスタートした



「平成の遣欧使節団」を派遣しローマ法王に謁見する村松会頭



「仙台城下町割り再現」など仙台開府四百年記念オープニングイベントを大勢の市民の参加を得て開催した



お客様の「声」をベースに接客サービスの資質向上を図るミレニアムキャンペーンでワッペンをつけて笑顔で接客



地域の伝統・商業文化である仙台初売りの正月2日開催と元旦営業自粛を関係機関へ要請

平成13年度(2001年度)

【概要】

全国の商工会議所における役員・議員の任期始期統一に伴い、前回の改選から1年4ヶ月後の11月に役員・議員の改選が行なわれ、村松巖会頭が再任され3期目がスタート。仙台開府四百年の本番となる本年は、伊達交流サミットの開催など各種記念事業を展開したほか、2002FIFAワールドカップサッカーに向けてイタリア代表チーム(愛称:アズーリ)が仙台市でキャンプを行うことから、国内外から集う人々を歓迎し仙台をアピールする「フォルツァ! アズーリクラブ」を設立し活動を開始した。「1日商工会議所」を簡易店舗診断やパソコン講習会と組み合わせ初実施し、村松会頭による区内の状況視察や懇談を通じて、会員の現状把握に努めるとともに、「接客サービス向上運動」を7月から七夕期間まで「仙台スマイル大作戦」と名称を変えて行うなどサービス向上を図った。また、「仙台初売り」の開催については、「仙台初売りを考える会」、「仙台初売りをよりよくする検討会」などにおいて、街頭アンケートや度重なる検討を経て、実施日やロゴマーク、ホームページ作成などの「より盛大に実施する方策」を取り決め、2日から一斉に行われた。さらに、東西線沿線のまちづくりが21世紀の仙台のまちの発展を考える上で、大変重要な課題であることから、「東西線沿線まちづくり推進協議会」を設置して、沿線各地域の地域特性を活かしたまちづくりの在り方について検討を行った。

【主な事業活動】

4月	「仙台初売りを考える会」を設置 経済動向政策委員会が「仙台21世紀ランドデザイン」の具現化に向けて取り組むべき事業の答申をまとめる 仙台開府四百年の各種記念事業がスタート
5月	仙台の観光・物産・交流拠点として「(仮称)伊達の博物館せんだい館」建設を仙台市へ陳情
7月	接客サービス向上運動を「仙台スマイル大作戦」として実施 1日商工会議所を初開催(7月:原町、9月:西多賀、10月:旭ヶ丘・本町、11月:東部工場団地・長町、12月:春日町、2月:上杉・青葉区食品衛生協会)
9月	「仙台初売りをよりよくする検討会」を設置 大規模小売店舗立地地検討委員会を開催(9月・3月) 景気対策、中小企業対策など県内・東北の商工会議所と連携して関係行政省庁等へ要望
11月	役員・議員の改選 「宮城県中小企業危機突破総決起大会」を開催 「在仙支店長・所長さんのつどい」を開催
1月	仙台初売りが統一感や連帯感を演出して2日一斉に開催 サッカーイタリア代表チームを支援する「フォルツァ! アズーリクラブ」を設立
2月	仙台商工会議所創立110周年を記念し「優良従業員表彰式」に併せ「創業・創立記念会員事業所表彰式」、「記念演奏会」を実施 「東西線沿線まちづくり推進協議会」を設置 宮城EU協会と共催で「欧州ミッション」(新しい通貨ユーロ流通直後の欧州視察)を実施



1日商工会議所が市内9カ所で初開催され、村松会頭が直接現地へ訪問し交流を深めた



サッカーイタリア代表を支援する「フォルツァ! アズーリクラブ」を設立し、会長に村松会頭が就任した



仙台開府四百年記念事業として伊達交流サミットが開催され、全国から伊達家ゆかりの24自治体首長が集まった



宮城県連・東北六県連と連携し、景気対策や中小企業対策の拡充等を関係省庁へ要望する陳情団



仙台商工会議所創立110周年を契機として新たに「創業・創立記念会員事業所表彰式」が行われ、百周年以上の企業が登壇し村松会頭・藤井仙台市長より表彰状が授与された



「仙台初売りをよりよくする検討会」で仙台初売りの統一感や連帯感を演出するため、ロゴマークのほり・ガイドブック・日本手拭(記念品)等様々な仕掛けが行われ、2日盛大に開催された

平成14年度(2002年度)

【概要】

「第52回国際青年会議所アジア太平洋会議仙台大会(ASPAC)」、「2002 FIFAワールドカップサッカー」、それに出場する「イタリア代表チーム(愛称:アズーリ)のベースキャンプ」など国際的なイベントが集中したことから、接客サービス向上運動「仙台スマイル大作戦」に加え「ウェルカムせんだい・みやぎ」キャンペーン等を展開して来県客を歓迎するなど、サービスの気運醸成を強化した。地域の活性化を図るために、商店街等のイベント・クーポンなどの「トク」な情報を発信するインターネットサイト「仙台トク・ナビ」を本格稼働させたほか、商店街を構成する小規模事業者等が、インターネットを使えるようになるために、基本的な操作を修得する「パソコン講座」を実施した。加えて、新規のイベントやまちづくり事業に対する助成制度「商工業振興・地域活性化助成事業」を新設するとともに、若手経済人が活躍する場として、仙台商店会青年部連合会が母体となり「仙台商工会議所青年部」を設立した。また、「元旦通常営業を考える会」において、「仙台初売り」の開催方法について検討を行い、「2日からの全市一斉実施」、「元旦通常営業の自粛」、「元旦通常営業実施の場合の規制」を取り決め、2日一斉に行う新たな方式が確立された。

【主な事業活動】

4月	「元旦通常営業を考える会」を設置
5月	「ウェルカムせんだい・みやぎ」キャンペーンの実施 仙台港背後地土地区画整理事業「センター地区構想」見直し(案)に対する意見書を宮城県・仙台市へ提出 東西線の整備推進に関する陳情を国土交通省等へ実施
6月	「仙台商工会議所青年部」を設立
7月	商店街情報を発信するインターネットサイト「仙台トク・ナビ」が本格稼働 接客サービス向上運動「仙台スマイル大作戦」を実施 文化観光部会がラスベガス・サンフランシスコ視察会を実施 「元旦通常営業を考える会」が仙台初売り実施に関する答申をまとめる 「大規模小売店舗立地検討委員会」を開催(7月・11月) 小規模事業者等パソコン講座の実施(7月～11月)
9月	「宮城県中小企業危機突破総決起大会」を開催 景気対策、中小企業対策など県内・東北の商工会議所と連携して関係行政省庁等へ要望
11月	「仙台市東西線建設促進市民総決起大会」を開催 「在仙支店長・所長さんのつどい」を開催 1日商工会議所を開催(11月:八幡町、2月:仙台塗装業組合、3月:宮町)
1月	当所機関誌月報「飛翔」をA4サイズ版へリニューアル
3月	卸売商業部会が「中国・上海・深圳」視察会を実施



若手経済人の活躍が期待される「仙台商工会議所青年部」の設立総会



東北六県商工会議所連合会と連携し、中小企業対策の拡充強化等17案件を5省1庁の大蔵へ直接要望



マウスの操作からメールの送受信まで熱心に受講するパソコン講座の参加者(14商店会、56日間、215人参加)



東西線の事業採択を求め、千人を超える来場者が集まり、仙台市東西線建設促進市民総決起大会を開催した



サッカーイタリア代表を支援する「フォルツァ! アズーリクラブ」(会長:村松会頭)が市内4カ所にオフィシャルセンターを開設



国際会議(ASPAC)やサッカーワールドカップで訪れるお客様へ「おもてなしの心」を伝える「ウェルカムせんだい・みやぎ」キャンペーンのショーウィンドー

平成15年度(2003年度)

【概要】

産業経済振興の発展を図るため「官公需の地元優先発注・適正価格発注」「景気対策」「税制改正」等について、宮城県内、東北の商工会議所等と連携を図りながら、関係行政省庁等に要望を行い早期実現・解決を求めた。また、「仙台ナンバー創設促進協議会」を設立し、自動車の「仙台」ナンバーの創設を目指し、署名運動をはじめ市民活動や要望活動を実施したほか、「仙台ブランド推進委員会」を設置し、①「杜の都・仙台」の活用運動、②地元「食材」等の積極的活用、③祭り・イベントなどの魅力向上、の三本柱による第一次答申をまとめ、実現に向けた「ブランドづくり運動」を展開するなど地域の活性化に努めた。中小企業支援では、平成16年4月からの消費税の制度改正実施に伴い、事業者が適切に対応できるよう、講習会や個別相談会、広報事業等を実施する「消費税円滑化対策事業」を強化したほか、企業等OB人材の優れた経営ノウハウや技術開発能力等を活用して新事業展開を支援する「企業等OB人材活用推進事業」を新たに展開した。加えて、村松会頭が直接地域を訪問し、地域商工業者や在仙大学との交流を図り、そのニーズを的確に捉える「1日商工会議所」を継続して開催し、会員の現状把握に務めた。

【主な事業活動】

5月	「大規模小売店舗立地検討委員会」を開催(5月・7月・2月)
6月	「企業等OB人材活用推進事業」を実施
7月	「官公需の地元優先発注並びに適正価格発注に関する要望」を宮城県・仙台市へ実施 接客サービス向上運動「仙台スマイル大作戦」接客セミナーを開催 1日商工会議所を開催(7月:荒町・9月:高砂・11月:在仙大学)
8月	改正消費税講習会を実施(6月～1月で82回)
9月	「第38回東北・北海道商工会議所連絡会議」を仙台で開催 景気対策、中小企業対策など県内・東北の商工会議所と連携して関係行政省庁等へ要望
10月	「仙台ナンバー創設促進協議会」を設立 「仙台」ナンバー創設を求める市民大会及び街頭パレードを実施 「在仙支店長・所長さんのつどい」を開催 地下鉄東西線事業認可報告会を開催
11月	「仙台ブランド推進委員会」を設置 小売商業部会・卸売商業部会合同米国最新流通事情視察会(ロサンゼルス・ラスベガス)を実施
12月	劇団四季ミュージカル「キャッツ」仙台公演で配布する飲食店情報誌「プレミアムマガジン」を発行
2月	仙台ナンバー創設に向けて27万7千人の署名を東北運輸局へ提出
3月	「仙台城石垣修復工事の完成を祝う会」を開催



地元企業の厳しい現状を説明し、適正な価格での地元優先発注を浅野宮城県知事(右)へ強く要望



1日商工会議所を初めて在仙大学の学長14人と開催し、文科系を含めた幅広い分野において産学官連携の促進を確認した



「仙台ナンバー創設促進協議会」を設立し、署名活動(27万7千人)、市民大会・街頭パレード等を実施



中小企業が消費税の制度改正に対応できるよう開催した講習会には多くの参加者が集まった(82回、4,201人)



地下鉄東西線の事業認可を取得した報告会では、沿線地域まちづくりを推進する発表も行われた



「仙台ブランド推進委員会」では仙台ブランドの創出に向けた具体的な進むべき方向性をまとめた

平成16年度(2004年度)

【概要】

役員・議員の改選期にあたり、第23代会頭に丸森仲吾氏(七十七銀行代表取締役頭取)が選任され新体制がスタート。中小企業支援では、「がんばる経営応援します」をキャッチフレーズに、小規模事業者を中心に経営改善普及事業に努めるとともに、「倒産防止特別相談室」を新たに「経営安定特別相談室」とし、倒産防止に係わる相談事業を強化した。さらに、大規模小売店舗立地法の改正及び指針見直しに対する提言をまとめ関係機関に要望したほか、政府へ「まちづくり3法」の見直しが必要であるとする意見書を提出するなど「街づくり」の新たな枠組みへの対応にあたった。宮城県を本拠地とするプロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」が誕生したのを受け、官民協力参加型の「楽天イーグルス・マイチーム協議会」を設立し、地域の活性化とスポーツ振興に寄与する各種事業を実施した一方、「ミュージカルなどを行う劇場整備委員会」を設置し、「仙台E-ブロードウェイ構想整備計画」をまとめ要望するなど文化振興にも取り組んだ。また、「仙台シティセールスサポーターの会」の設立や「せんだい・杜の都親善大使」の誕生など、地域が一体となった情報発信による、全市的な「ブランドづくり運動」を展開した。

【主な事業活動】

4月	青年部が4政令指定商工会議所(千葉、京都、広島、さいたま)と「友好青年部調印式」を実施 「せんだい・杜の都親善大使」を初選考 「仙台」ナンバー創設促進に関する要望を石原国土交通大臣へ提出
5月	「大規模小売店舗立地検討委員会」を開催(5月・9月・2月)
6月	「仙台ブランドの推進に関する第一次答申」を藤井仙台市長へ提出
8月	貿易部会が中国・大連視察会を実施
9月	小売商業部会・卸売商業部会合同第7回米国視察(ニューヨーク等アメリカ東海岸)を実施 「ミュージカルなどを行う劇場整備委員会」を設置 不動産部会が中国・上海視察会を実施 創業塾を開催(10回)
10月	第二創業塾を開催(10回) 「大規模小売店舗立地法の改正および指針見直し」を国など関係機関へ要望 当所ホームページを全面リニューアル
11月	役員・議員の改選 文化観光部会が台北視察会を実施 「仙台シティセールスサポーターの会」を設立
12月	「楽天イーグルス・マイチーム協議会」を設立 「ミュージカルなどを行う劇場整備に関する要望」を宮城県・仙台市・JR東日本に実施 「年末大売出し」から「年末お客様感謝祭」と名称変更して初開催
2月	東北大学も主催団体に加わり「せんだいの夕べ」を開催
3月	卸売商業部会が「中国・大連、上海、常熟」視察会を実施



臨時議員総会で挨拶をする第23代会頭に就任した丸森仲吾氏



「ミス仙台」から名称・応募資格等を変更して新たに「せんだい・杜の都親善大使」3人を選考した



官民あげてプロ野球楽天イーグルスの支援活動を行う組織「楽天イーグルス・マイチーム協議会」の設立総会で挨拶する丸森会頭



ミュージカルなどを行う劇場の整備実現に向け委員会を設置し実現可能な計画を策定した



「宝くじ方式」から「応募ハガキ方式」に変更して開催された「年末お客様感謝祭」の抽選会では20万通を超える応募があった



当所村松会頭、笹原副会頭が藤井仙台市長(右)を訪問し、仙台ブランドの具現化に向けた提案を行った

平成17年度(2005年度)

【概要】

仙台市では、地下鉄東西線などの大型プロジェクトが始動する中、仙台ブランドの創出を図るため、仙台の魅力をひとめでイメージできる「杜の都・仙台」シンボルマークを作成し、広く活用を促すとともに、自動車の「仙台」ナンバー創設に向け、積極的な要望活動を展開した。また、地下鉄東西線の建設を促進するため、「東西線早期着工推進大会」や「地下鉄東西線沿線まちづくりシンポジウム」等を開催し機運の醸成を図った。中小企業支援では、金融特別相談窓口を強化し、マル経融資(小規模事業者経営改善資金融資制度)等の積極的な活用を図るとともに、地域金融機関と提携して、会員向けに金利や手数料等を優遇した融資制度「仙台商工会議所メンバーズローン」を新設し、支援制度の拡充を図った。また、改正消費税法の対応として、税務書類の作成や申告実務の指導等を重点的に行ったほか、申告へ向けた講習会や個別相談会を開催した。さらに、大阪商工会議所がインターネット上で運営する商取引支援サイト「ビジネスモール」に参画し、会員のビジネスチャンス拡大に努めた。会館管理では、会館竣工後25年が経過し耐震補強や設備の補修・改修の必要性があることから、「会館改修・耐震対策検討委員会」を設置して検討した。

【主な事業活動】

4月	「議員交流懇談会」を開催 「仙台」ナンバー実現に関する要望を東北運輸局へ実施
6月	「東西線早期着工推進大会」を開催
7月	接客サービス向上運動「仙台スマイル大作戦」をスタート 「会館改修・耐震対策検討委員会」を開催(7月・10月・11月・12月)
8月	戦後復活60回を記念して「仙台七夕まつり」を開催(七夕パレードを「星の宵まつり」に名称変更) 「仙台商工会議所メンバーズローン」を新設
9月	丸森会頭が郊外大型店などを訪問し初売り2日一斉開催を要請
10月	景気対策、中小企業対策など県内・東北の商工会議所と連携して関係行政省庁等へ要望 小売商業部会・卸売商業部会合同第8回米国流通事情視察会(ニューヨーク等アメリカ東海岸)を実施 仙台ブランド推進委員会で「杜の都・仙台」シンボルマークを作成 「通行量・消費動向に見る中心部商店街セミナー」を開催
11月	「地下鉄東西線の加速的推進をめざす市民大会」を開催 「大規模小売店舗立地検討委員会」を開催 「ミュージカルなどを行う劇場整備委員会」を開催(11月・3月)
12月	中心部商店街・長町商店街が加わり「年末お客様感謝祭」を実施 「地方再生・中小企業活力強化のための政策を要望する会」を開催
2月	「地下鉄東西線沿線まちづくりシンポジウム」を開催



東西線の早期着工に向け、関係者の結束を更に強いものとした「東西線早期着工推進大会」



「地方再生・中小企業活力強化のための政策を要望する会」を開催し、県選出国議員等へ地域の窮状を訴えた



当所で行った通行量調査や来街者アンケート調査の結果を活用したセミナーを開催した



「杜の都 仙台」シンボルマーク



国土交通省を訪問し仙台ナンバー実現に向けた精力的な要望活動をした結果、平成18年10月導入が決定した



「仙スマ」ポスターを掲示し、接客サービス向上運動「仙台スマイル大作戦」が初めて通年で開催された

平成18年度(2006年度)

【概要】

平成20年秋に開催される「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)」実施に向けて、「経済動向政策委員会」が「DCへの地元商工業者の対応に関する提言」をまとめ、関係方面に対し要望するとともに、提言された各種対応策の具現化のために「仙台・宮城DCプロモーション委員会」を設置した。また、「東北大学雨宮キャンパス跡地に関するまちづくり検討委員会」が「東北大学雨宮キャンパス跡地の望ましい姿」をまとめ関係機関に対し要望を行ったほか、「(仮称)おまつり会館」の早期建設を図ることを目的に「おまつり会館建設促進に関する委員会」を設置し実現に向けて検討を開始した。中小企業支援では、身近な支援拠点として新たに「シニアアドバイザーセンター」を稼働させ、個別相談や専門家の派遣事業を拡大させるとともに、創業塾及び経営革新塾等を開催した。加えて、経営者から従業員まで各人の能力を開発するためのセミナー等を開催したほか、新たにBATIC(国際会計)、ECO(環境社会)など8検定を実施し、商工技術・技能の向上に努めた。また、迅速な情報発信を図るため、当所ホームページに会員情報・新入会員紹介コーナーを新設するなどの大幅リニューアルを行い、ビジネスチャンス拡大を支援した。

【主な事業活動】

4月	「東北大学雨宮キャンパス跡地に関するまちづくり検討委員会」を設置 「経済動向政策委員会」を開催(4月・7月) 当所会館の改修・耐震工事を実施(4月～10月)
5月	「大規模小売店舗立地検討委員会」を開催(5月・6月・9月)
6月	「シニアアドバイザーセンター」事業を開始 「東北六県商工会議所女性会連合会総会・宮城大会」を仙台で開催
7月	経済動向政策委員会が「デスティネーションキャンペーンへの地元商工業者の対応に関する提言」をまとめ、宮城県など関係方面へ要望 BATIC(国際会計)検定試験を初実施
10月	「仙台・宮城デスティネーションキャンペーンプロモーション委員会」を設置 不動産部会で「柳橋市議会議長を囲む要望懇談会」を開催し「街づくりと不動産税制に関する要望」を実施 創業塾(10回)・経営革新塾(5回)を開催 景気対策、中小企業対策など県内・東北の商工会議所と連携して関係行政省庁等へ要望 ECO検定(環境社会)試験を初実施
11月	貿易部会がタイ視察会を実施
12月	「東北大学雨宮キャンパス跡地の望ましい姿」をまとめ関係機関へ要望 「おまつり会館建設促進に関する委員会」を設置 「会員のつどい」、「在仙支店長・所長さんのつどい」を合同開催
1月	「年末お客様感謝祭」公開抽選会を初めて太白区文化センター「楽楽楽ホール」で開催
2月	文化観光部会が香港・マカオ視察会を実施



JTB清水常務、山形県後藤副知事、東北地域環境研教室志賀代表によるDCの鼎談



丸森会頭が村井宮城県知事(右)を訪問し、DCへ地域一体となった取り組みの必要性を要望



「東北大学雨宮キャンパス跡地に関するまちづくり検討委員会」では、次代に求められるエリアの姿をまちづくりの視点から検討



年末お客様感謝祭抽選会を初めて「楽楽楽ホール」で開催し、500人を超える来場者が詰めかけ、約900点の豪華景品を抽選した



「会員のつどい」、「在仙支店長・所長のつどい」合同交流会を、ゲストに楽天イーグルス新入団選手を迎えて開催した



営業マネージャーコーチングセミナーなど階層別のセミナーを開催し、中小企業の人材育成を支援した

平成19年度(2007年度)

【概要】

役員・議員の改選期にあたり、丸森仲吾会頭が再任され2期目がスタート。要望活動では、「商店会等の加入促進条例の制定」、「高速バスターミナルの早急な整備」などの各種要望を関係機関に行ったほか、2月には「道路特定財源の暫定税率維持」を求める県民会議を開催した。また、11月に新たに就任した岡村正日本商工会議所会頭が来仙し中心部商店街等を視察、当地域の抱える諸問題について当所正副会頭と意見交換を行った。中小企業支援では、特に、創業・経営革新を目指す中小企業者に対し、「経営革新支援アドバイザーセンター」を設置して経営相談機能を強化したほか、育成事業として起業塾と経営革新塾等を開催した。さらに、会員交流の場として、「議員交流懇談会」、「新入会員ウェルカムパーティー」を開催するとともに、定期便で結ばれる神戸と観光・ビジネス分野の連携強化を図るための交流会や観光セミナーを開催し、ビジネスチャンスの拡充支援を図った。また、セントラル自動車、東京エレクトロンなど大手製造業の県内への移転・進出が決定されたことから、従業員や家族が安心して移住してもらうための情報誌「伊達fan」を発行した。

【主な事業活動】

4月	「大規模小売店舗立地検討委員会」を開催(4月・12月・2月)
5月	「仙台・宮城デスティネーションキャンペーンプロモーション委員会」を開催(5月・8月・3月)
8月	神戸・仙台ビジネス交流会を開催 「商店会等加入促進に関する要望」を仙台市に実施
9月	「経営革新支援アドバイザーセンター」を設置 経営革新塾を開催(5回) 商店会会長会議を開催
10月	起業塾を開催(10回) 中小企業対策、観光振興など県内・東北の商工会議所と連携して関係行政省庁等へ要望 メンタルヘルス・マネジメント検定試験を初実施
11月	役員・議員の改選 「議員交流懇談会」を開催
12月	女性会婚活事業「おせっかいオオネ出会い応援!ポウリング大会」を初開催 東西線沿線まちづくり協議会が先進地である神戸・福岡を視察(12月・1月) 10月1日以降の入会企業等に対し、その年度の会費を半額にする規約改正を実施
2月	「地方にとって真に必要な道路整備と財源確保を求める県民会議」を行政・経済団体と開催 「新入会員ウェルカムパーティー」を開催 日本商工会議所岡村会頭が中心部商店街等を視察し当所正副会頭と意見交換
3月	宮城県進出企業への情報誌「伊達fan」を発行 卸売商業部会がベトナム視察会を実施 「高速バスターミナルの早急な整備」を仙台市へ要望



仙台・神戸両地域の経済界代表者が仙台に集まって開催された観光・ビジネス交流会



道路整備と財源確保を求める県民会議には約千人の参加者が集まり、地方にとって真に必要な道路整備と道路特定財源の維持を訴えた



中心部商店街を視察する岡村日本商工会議所会頭(右から2人目)



仙台・宮城へのスムーズな移住ができるよう進出企業の社員・家族向け情報誌「伊達fan」を発行(2010年まで10回)



梅原仙台市長へ「高速バスターミナルの早急な整備」を求める要望を実施



新たなビジネスチャンスを目指し、真剣に「起業塾」を受講する創業予定者

平成20年度(2008年度)

【概要】

仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)が初開催(10月~12月)され、開幕当日、ぶらんどーむ一番町商店街で「DCで出会える秋の仙台七夕物語」を開催した。期間中は、観光業界のみならず住民や地域商工業者が一体となって接客等に努めた。また、まちづくりの一環として、青葉山の自然と都心が共生する新しい仙台の都市像を考える「学都仙台再編プログラム」に取り組んだほか、地下鉄東西線沿線の横断的なまちづくりを推進するため、「東西線沿線駅周辺まちづくり研究会」を新たに設置した。中小企業支援では、「地域力連携拠点・事業承継支援センター」を開設し、企業の課題解決に向けた強力な支援を行ったほか、雇用のミスマッチを解消するために「宮城県地域ジョブ・カードセンター」を設置した。また、地域商店会の地域資源や個店の逸品情報を掲載した仙台まち歩きポータルサイト「ぶらり仙台まちめぐり」を開設し、情報発信に努めた。さらに、「国分町活性化プロジェクト委員会」を新たに立ち上げ、国分町の既存資源と仙台・宮城の地域資源を結びつける実証実験を展開した。

【主な事業活動】

5月	「地域力連携拠点・事業承継支援センター」を開設 「宮城県地域ジョブ・カードセンター」を設置
6月	「国分町活性化プロジェクト委員会」を設置 宮城県進出企業への情報誌「伊達fan」を発行(6月・10月・1月)
7月	「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン プロモーション委員会」を開催 北海道洞爺湖サミット会場に仙台七夕飾りを掲出 宮城県人ブラジル移住100周年祭と宮城県人会創立55周年、仙台七夕導入30周年等を祝う式典がサンパウロ市で開催され、丸森会頭が参加
10月	「DCで出会える秋の仙台七夕物語」をぶらんどーむ一番町商店街等で開催 「消費生活アドバイザー検定」を初実施 劇団四季ミュージカル「美女と野獣」仙台公演で配布する飲食店情報誌「プレミアムマガジン」を発行 「仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを継承・発展するための支援体制の構築」を宮城県・仙台市・JR東日本へ要望
11月	「仙台七夕まつりをよりよくする検討会」を設置
12月	「伊達な逸品研究会」を開催
1月	「APEC(アジア太平洋経済協力会議)関連大臣会合の仙台誘致」を国など関係機関へ要望
2月	「東西線沿線駅周辺まちづくり研究会」を設置
3月	「新入会員ウェルカムパーティー」を開催 商店会長会議の開催 仙台まち歩きポータルサイト「ぶらり仙台まちめぐり」を開設



仙台・宮城DC開幕を記念して開催された「DCで出会える秋の仙台七夕物語」のオープニングセレモニー



DCを一過性のものとせず今後も継続していく支援体制の構築を村井宮城県知事(左)へ要望



地域の魅力向上と商店街の活性化を図るために、インターネット上に開設した「ぶらり仙台まちめぐり」のトップページ



小規模企業の諸問題をワンストップで答える「地域力連携拠点・事業承継支援センター」を開設



身近な「一品」を力強い「逸品」に磨き上げる「伊達な逸品研究会」を開催



国分町活性化プロジェクトでは、国分町通りに電飾したツリーを並べたり(左)、夜ジャズを開催し限定メニューを提供(右)するなど、国分町の既存資源と仙台・宮城の地域資源を結びつける各種の実証実験を実施した



平成21年度(2009年度)

【概要】

国民1人当たり12,000円の定額給付金支給に合わせた景気浮揚策として、「心のおまけキャンペーン」(4月~6月)を市内全域で実施。市内11商店会では、豪華景品が当たる抽選会や割増商品券の発行など、タイアップ事業が多数繰り広げられ、消費喚起と地場商店会の利用拡大を図った。加えて、地域資源と個店の逸品情報を発信する「ぶらり仙台まちめぐり」の情報を拡大し、来訪者の回遊性向上に努めた。さらに、自動車・半導体製造装置等の進出産業への参入に向けた地元企業支援策として、仙台・米沢・会津若松3都市の商工会議所工業部会交流会をスタートさせた。観光面では、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンで培った地域づくりを継続化させるため、宮城県を中心に、「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」(10月~12月)を展開。さらに、東北新幹線・新青森駅開業を控え、東北各県が連携したPR事業の展開等による観光客の拡大を図るため、当所が東北6県の夏祭り主催者等に呼びかけ「東北夏祭りネットワーク」を結成した。また、当所の明確な活動指針を示すべく、「企業活力」、「地域力」、「組織力」の3本柱を軸に、事業活動を重点的に進めていくことを掲げた「中期ビジョン」(平成22~24年)を初めて策定した。

【主な事業活動】

4月	定額給付金支給に伴う景気浮揚対策事業「心のおまけキャンペーン」を実施(4月~6月) 宮城県進出企業への情報誌「伊達fan」を発行(4月・7月・10月・1月)
5月	「議員交流懇談会」を実施
6月	交流会セット型セミナー「経営者のための販売戦略の立て方と進め方セミナー」を開催
7月	農商工連携活用促進セミナーを開催
9月	「日本商工会議所青年部第28回東北ブロック大会仙台大会」を仙台で開催
10月	仙台・宮城「伊達な旅」キャンペーン(10月~12月)を初開催
11月	農商工連携促進バスツアーの実施 宮城県進出企業への情報誌「仙台都市圏スクールガイド」を発行
12月	第1期中期ビジョンを策定(平成22~24年度) 「ワンストップ・サービス・ディ」の実施
1月	「(仮称)文化伝承のための会館整備に関する要望」を仙台市へ実施
2月	「東北夏祭りネットワーク」を結成 3都市(仙台・米沢・会津若松)商工会議所工業部会交流会を初開催 「会員交流会」を開催 「仙台の夕べ」を「仙台・首都圏交流会」に改め東京で開催



定額給付金支給に合わせた景気浮揚策「心のおまけキャンペーン」では約750店舗の参加があり、丸森会頭(右から2人目)と庄子副会頭(左から2人目)が参加店を激励に訪れた。また、商店会イベント等を掲載した河北ウィークリー特集号を35万部発行した



地域農産物を活用したビジネスチャンスを生み出すため、先進地視察等が実施された



「東北夏祭りネットワーク」の結成式では、東北6県の夏祭りが連携して共同事業に取り組むことを宣言した



「中期ビジョン」策定に向けた議員懇談会を計6回開催し積極的な議論が交わされ、「企業活力」「地域力」「組織力」の3本柱を軸にまとめあげた



工業部会では新たなネットワークの構築を目指し、仙台・米沢・会津若松の3都市交流がスタートした

平成22年度(2010年度)

【概要】

震災前は、役員・議員の改選期にあたり、第24代会頭に鎌田宏氏(七十七銀行代表取締役会長)が選任され新体制がスタート。中小企業支援では、「みやぎ中小企業応援センター」を新設し、相談体制を強化するとともに、「ワンストップサービスセンター」を設け、検定・相談窓口の一元化を図った。また、会報誌「飛翔」では新コーナー「杜の都ビジネス情報」を設け、企業の情報発信をサポートした。さらに、地域や企業の環境対策を示した「環境行動計画」を策定したほか、地域資源を生かした「伊達な木遣い商品開発プロジェクト」に取り組んだ。観光分野では、「東北夏祭りネットワーク」が本格始動し、首都圏で初の共同キャンペーンを実施するとともに、参加団体の拡大を図り2月に拡大展開結成式を実施した。

平成23年3月11日(金)午後2時46分、東日本大震災が発生。当所では、「復興対策本部」を立ち上げ、3月14日から順次市内3カ所に震災にかかわる経営相談窓口を設け、地域中小企業に対して機動的対応を図ったほか、3月23日には「中心部商店街市民復興サイト」を立ち上げ、社会的な混乱を収めるべく生活に必要な各種情報提供に努めた。加えて、国・宮城県・仙台市に対して、地域経済の一日も早い復興を図るべく、金融・雇用面など中小企業対策への緊急的な対応を強く要望した。

【主な事業活動】

4月	「みやぎ中小企業応援センター」を設置 「ワンストップサービスセンター」を会館1階入口に設置 「農工商連携推進室」を設置 「伊達な木遣い商品開発プロジェクト」を実施 宮城県進出企業への情報誌「伊達fan」を発行(4月・9月)
6月	「東北夏祭りネットワーク」が首都圏で初めて共同キャンペーンを実施
7月	「環境行動計画」を策定
10月	「仙台市における職員の休休み時間延長を求める要望」を中心部の三栄会と共同で仙台市へ実施 劇団四季ミュージカル「マンマ・ミーア」仙台公演で配布する飲食店情報小冊子「プレミアムマガジン」を発行
11月	役員・議員の改選 「みやぎの旬な食材をテーマとした会員交流懇談会」を開催
12月	官公庁の入札情報を入手できる「入札王」を会員向けサービスとして初導入
2月	日本商工会議所青年部第30回全国大会「みやぎ・仙台大会」を仙台で開催
3月	東日本大震災発生(3月11日) 「復興対策本部」を設置 緊急相談窓口を「緊急経営相談窓口」(当所)、「中小企業支援合同相談窓口」(アエル)、「現地緊急経営相談所」(仙台卸商センター内)の3カ所に設置 市内各商店街に対して個店の開店を要請 「中心部商店街お買い物情報支援サイト」を開設 国・宮城県・仙台市に対する早期復興に向けた要望活動を実施 第1回会員事業所への実訪・電話等による状況確認を実施



第24代会頭に選任され、11月臨時議員総会で就任の挨拶をする鎌田宏会頭



みやぎの「旬な食材」をテーマとした会員交流懇談会では、魚介や野菜などの食材を前に、今後の取引や新商品開発に向けた情報交換が行われた



仙台市体育館で開催された日本商工会議所青年部第30回全国大会「みやぎ・仙台大会」の記念式典で挨拶する阿部賀寿男大会会長(参加者4,007人)



東北6県の夏祭り関係者が東京ディズニーリゾート内のイクスピアリで実施した初の共同キャンペーン



3月25日から宮城野区・若林区を中心に会員事業所へ実訪等による状況確認を実施した



3月14日から順次市内3カ所に緊急経営相談窓口を設置し、被災企業の支援に取り組んだ

【東日本大震災基本データ】 (2021年3月1日現在)

1. 地震概要(気象庁)

- (1)発生日時 平成23年3月11日(金)14時46分
- (2)地震名 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震
- (3)震央地名 三陸沖(北緯38度06.2分、東経142度51.6分)
- (4)震源の深さ 約24km(暫定値)
- (5)規模 マグニチュード9.0(Mw)
- (6)市内震度 震度7 (栗原市)
震度6強 宮城野区
震度6弱 青葉区、若林区、泉区
震度5強 太白区
- (7)津波 3月11日14時49分 宮城県に大津波警報発令(気象庁)津波の高さ 仙台港 7.1m(推定値)(3月13日17時58分 津波注意報を解除)
- ※最大余震 平成23年4月7日(木)23時32分頃
マグニチュード7.2 宮城県沖
震度6強 宮城野区 震度6弱 青葉区・若林区
震度5強 泉区 震度5弱 太白区

2. 仙台市内の被害状況

- (1)人的被害 ①死者 904人
②行方不明者 27人
③負傷者 2,305人
- (2)建物被害 ①全壊 30,034棟
②大規模半壊 27,016棟
③半壊 82,593棟
④一部損壊 116,046棟

3. 仙台市内被害額の概要

- 被害推計額 約1兆3,045億円
- (1)市有施設関係：約2,625億円
 - ①水道、ガス、下水道などライフライン関係 1,035億円
 - ②地下鉄、道路橋梁、公園等の都市基盤関係 1,270億円
 - ③学校、市営住宅、庁舎など建築物関係 300億円
 - ④廃棄物処理施設など生活・衛生関係 20億円
 - (2)その他公共施設：約1,452億円
 - ①大学、県美術館等文教施設関係 875億円
 - ②河川、港湾等公共土木関係 267億円
 - ③鉄道等交通関係 259億円
 - ④県水道、病院等ライフライン 保健医療関係 32億円
 - ⑤その他 19億円
 - (3)住宅・宅地：約6,086億円
 - (4)農林水産業関係：約735億円
 - ①農地、農業用機械等 721億円
 - ②漁業 13億円
 - ③林業関係 1億円
 - (5)商工業関係：約2,147億円
(有形固定資産並びに製品在庫等の被災状況から想定)



荒浜小学校の周辺には建物等が見当たらない



仙台空港ターミナルビル前には車や瓦礫が押し寄せた



仙台塩釜港の高砂コンテナターミナルではコンテナが散乱した



仙台駅新幹線ホームでは天井が抜け落ちた



仙台市内では道路の陥没が相次いだ



市内の建物には大きな被害が見受けられなかったが、仙台駅前では揺れの大きさに屋外に出てきた人たちが右往左往していた



中心部商店街では開店状況などの手書きメモを情報として張り出した



震災発生から3週間が経過し中心部商店街では徐々に営業が再開し落ち着きを取り戻してきた

平成23年度(2011年度)

【概要】

東日本大震災以後、一日も早い復旧・復興を最優先に事業活動を展開した。震災直後、市内3カ所に設置した緊急相談窓口を継続するとともに、全国の商工会議所から派遣経営指導員を受け入れ、会員事業所の安否確認を実施した。さらに、仙台復興推進委員会を設置し、復興を目指す企業ニーズを的確に捉え、2度にわたり「仙台復興推進に関する提言」をまとめ、国・宮城県・仙台市など関係諸機関に要望した。また、日本商工会議所並びに全国の商工会議所との連携により「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」を展開し、仙台のみならず沿岸部を中心とした東北各地の事業所の早期事業再開支援に努めた。一方、全国的な自粛ムードが続く中、自粛抑制の呼びかけとあわせて「仙台七夕まつり」の開催を早期に決定するとともに、東北夏祭りネットワークを礎として「東北六魂祭」の開催・運営に協力し、全国に「元気な東北」を強くアピールした。この他、マル経融資制度の震災対応特枠新設や仙台市利子補給制度導入、東京・大阪・名古屋の各会議所との連携による県外での商談会開催など、積極的な経営支援を図った。

【主な事業活動】

4月	東北地方太平洋沖地震への対応に関する緊急要望を財務副大臣他へ実施 日商岡村会頭と仙台商工会議所執行部との懇談会を開催 日商記者会見で鎌田会頭が仙台七夕まつり開催を明言 震災対応資金繰り・雇用関連ワンストップセミナーを開催 被災企業支援サイト「Googleビジネスファインダー」が稼働 日本商工会議所職員並びに全国商工会議所から派遣経営指導員を受入(4月→日商1人、第1陣10人、第2陣11人 6月→第3陣8人、第4陣8人) 「東日本大震災災害対策情報」の発行(4月・5月・6月)
5月	「仙台復興推進委員会」を設置
6月	東北学院大学と包括連携に関する協定を締結 米国へ「米軍の仙台空港復旧支援に対する感謝状」を贈呈 被災事業者支援策説明ワンストップ相談会の開催 会費を減額(12分の10)して依頼 遊休機械無償マッチング支援事業を開始 節電キャンペーンの実施
7月	初めて「東北六魂祭」を仙台市で開催 「東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会」が設立 早期復興に関する要望を日本商工会議所と連携して実施
8月	仙台復興推進に関する第1次提言を関係行政機関・宮城県・仙台市へ提出(3月に第2次提言提出) 「復興と鎮魂」をテーマに「仙台七夕まつり」を開催
9月	「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」が正式発足

10月	仙台市によるマル経融資震災対応特枠の3年間利子補給が開始 「震災復興会員総決起大会」を開催 仙台商工会議所会館の破損箇所を補修・修繕
11月	第2回会員事業所への実訪・電話等による状況確認を実施
1月	新年祝賀会から「新年のつどい」と名称を変更して開催
2月	「女性会創立50周年記念式典・祝賀会」を開催 「感謝そして復興へ」をテーマに「仙台の夕べ」を開催
3月	「東北まつりネットワーク」を結成 「被災中小企業の復旧復興支援に係る貢献者」として経済産業大臣賞を受賞 「東日本大震災の記録と復興の一年の奇跡」を発行



震災復興会員総決起大会において、復興に向けた連携を再確認する奥山仙台市長(左)、鎌田会頭(中)、村井宮城県知事(右)



仙台復興推進委員会を設置し、行政関係機関への要望事項、各業種団体が取り組む支援策、誘客、情報発信などについて検討が行われた



東北のまつりを国内外に向けて一体的にPRするため、東北まつりネットワークを結成した



日本商工会議所と全国の商工会議所が連携した遊休機械無償マッチング支援プロジェクトが発足し、全国から被災企業へ多くの機械や工具等が届けられた



東北の夏まつりが元気に開催されることを全国にアピールするため東北六魂祭を開催



米軍による1カ月にわたる仙台空港の復旧・復興支援に対し、ルース駐日米国大使(下段、右から3人目)へオバマ大統領領の感謝状を贈呈した

平成24年度(2012年度)

【概要】

東日本大震災からの一日も早い地域経済の復興を図るため、「東北における被災地の復興なくして仙台の発展なし」という考えに立ち、日本商工会議所、全国514商工会議所、東北六県・宮城県商工会議所連合会と緊密な連携を取りながら企業の経営支援に会議所をあげて取り組み、地域の活力強化に努めた。遊休機械無償マッチング支援プロジェクトや再生PC(パソコン)寄贈プロジェクト、マル経融資制度の震災対応特枠および仙台市利子補給制度などの各種支援施策は平成23年度から継続して実施した。さらに本年度は、首都圏をはじめとした各地の商談会に参加し企業の販路回復・拡大を支援するとともに、風評被害・震災風化防止対策の一環として、全国の取引先や知人に近況を知らせる「復興 近況メッセージカード(はがき)」や全国に東北への視察・訪問を呼びかけるパンフレット「今こそ、東北へ!」を制作し全国の商工会議所等に配布するなど、東北の今を伝えるため積極的な情報発信を行った。また、全国からの震災支援に対し、鎌田会頭が各地を訪問して直接感謝の意を伝えた。

【主な事業活動】

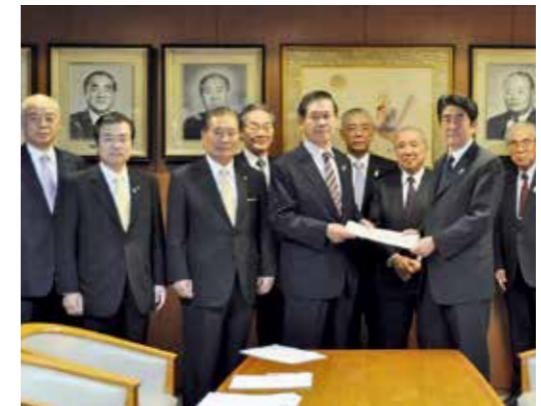
4月	震災復興会員ニーズ調査を実施 名古屋・京都・札幌・日本・東京・広島商工会議所への御礼訪問
5月	全部会合同常任委員会で復興推進に関する説明会を開催 復興支援御礼 仙台七夕まつり「博多どんたく港まつり」に参加 福岡・新潟商工会議所への御礼訪問 「東北六魂祭」を盛岡市で開催
6月	高松・神戸・大阪・横浜商工会議所への御礼訪問
7月	震災からの早期復興などの要望を日本商工会議所と連携して実施(7月・12月・3月)
8月	「青年部創立10周年記念式典・祝賀会」を開催 県下商工会議所の名産品等が当たる「みやぎ・元気をありがとうキャンペーン」を実施 復興支援御礼で 仙台七夕まつりが「京の七夕」に参加
9月	「支店長交流懇談会」を開催
12月	第2期中期ビジョンを策定(平成25~27年度) 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)開催に向けた「仙台・宮城観光復興推進研究会」を設立 日本商工会議所と連携し安倍総裁へ復興の加速化を要望
2月	「震災復興 販路回復・拡大支援事業企画委員会」を設置 「仙台まちゼミ」を初開催 「仙台の夕べ」を東京で開催 仙台・宮城DCに向けた総決起大会・交流懇親会の開催
3月	視察・訪問団誘致促進パンフレット「今こそ、東北へ!」並びに東北の観光・地域情報パンフレット「今こそ、東北へ!東北六県周遊ガイド」を制作



「博多どんたく港まつり」のステージで、支援に対する御礼を述べる鎌田会頭。パレードにも参加し、沿道から「仙台がんばれ」の声援が飛び交った



東日本復興応援プラザ「銀座いきなり市場」で、「みやぎ・元気をありがとうキャンペーン」のPRを実施



自由民主党の安倍総裁に対して、鎌田会頭(左から2人目)が日本商工会議所の副会頭の立場で復興の加速化を要望



日商・全国514商工会議所のネットワークにより、多くの工作機械等が被災企業に届けられ、再建に役立てられた



仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けた総決起大会を開催し、地域が一体となって取り組む意識の醸成を図った



仙台まちゼミでは、店主等が講師となり、プロならではの専門知識や技術、商品の特徴を紹介し、お店や商店街の賑わいを創出した

平成25年度(2013年度)

【概要】

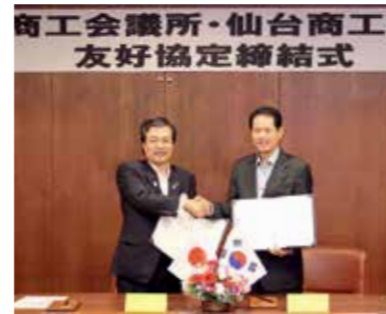
役員・議員の改選期にあたり、鎌田宏会頭が再任され2期目がスタート。東日本大震災関連については、東北の早期復興をけん引すべく、日本商工会議所をはじめ関係機関と緊密な連携の下、全国514商工会議所ネットワークを活かした「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」の推進や「販路回復・拡大支援事業」の強化を図るため専門部署を設置し、バイヤー経験者のコーディネーターを常駐させるなど地域経済の再建支援に努めた。また、風評払拭・風化防止、今後の継続支援を求めため、日商会議や「日韓商工会議所首脳会議」「全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会」など国内外から誘致した諸会議、訪韓ミッションといったさまざまな機会において被災地の現状を積極的に発信した。加えて、中小企業へ経営改善普及事業を推進するとともに、消費税率引き上げに対応するため「消費税転嫁相談窓口」の設置や「朝活交流会」「まちゼミ」などを開催してビジネスチャンスの拡大を図ったほか、プロ野球「楽天イーグルス優勝パレード」の実施や本地域で2回目となる「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」への協力など交流人口の拡大を推進した。

【主な事業活動】

4月	「伊達な商談会」を初開催 日本商工会議所青年部平成25年度会長に当所青年部の阿部賀寿男氏(阿部蒲鉾店代表取締役社長)が就任 「仙台商店会連絡協議会」が発足
5月	「DC春の七夕in仙台・青葉まつり」を実施 「日本・チリ経済委員会」を受入
6月	当所と光州商工会議所(韓国)が友好協定を締結 「日韓商工会議所首脳会議」を受入 「東北六魂祭」を福島市で開催
7月	消費税転換相談窓口を設置 震災からの復旧・復興に関する要望を日本商工会議所と連携して実施(7月・3月) 東北六県商工会議所連合会と連携し「訪韓ミッション」を実施
8月	「仙台まちゼミ」を開催(8月・2月)
9月	「第45回全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会」を仙台で開催
10月	福島(原町・相馬)応援ツアーを実施 「第1回朝活交流会」を開催 「七夕飾りの振興策に関する検討委員会」を設置
11月	役員・議員の改選 宮城県商工会議所連合会と連携し「韓国・光州広域市訪問ミッション」を実施 「楽天イーグルス優勝パレード」を実施(日本一・リーグ制覇)
12月	日本商工会議所三村会頭と当所執行部との懇談会・被災地視察
3月	8,000会員を回復 日本商工会議所と連携し菅官房長官へ震災復興支援を要望



伊達な商談会にはコーディネーターが同席し、事後のフォローまで一貫して支援を継続



光州商工会議所(韓国)との交流促進に向けて固い握手を交わす鎌田会頭と朴会長(右)



仙台市体育館で開催された第45回全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会で挨拶する平賀会長(参加者3,495人)。物産展等の収益の一部を、岩手県、宮城県、福島県に寄付した



菅官房長官(右)に震災復興に関する要望書を手渡す日商三村会頭と鎌田会頭



楽天イーグルス優勝パレードは当所会館前をスタート。仙台七夕まつりの笹飾りで会場を華やかに演出



日本YEG会長就任の激励会で謝辞を述べる阿部会長。「高き志を持ち 共に進もう 輝ける未来のために」をスローガンに、全国YEG会員の先頭に立って活躍

平成26年度(2014年度)

【概要】

東北の本格的な復興を目指し、日本商工会議所や全国514商工会議所、東北六県・宮城県商工会議所連合会と連携し、「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」や「販路回復・開拓支援」(伊達な商談会、バスツアー型商談会)を継続して実施したほか、仙台市内を会場に開催された「第3回国連防災世界会議」では、日本商工会議所の岡村正名誉会頭と東京エレクトロン宮城(株)竹淵裕樹顧問(みやぎ工業会理事長)、鎌田会頭が講演したパブリックフォーラムやせんだいメディアテークに防災・復興に関するブース出展するなど、商工会議所の被災企業支援と復興からの歩みや現状について国内外に広く発信した。また、当所が国の「経営革新等認定支援機関」に認定され独自の「経営発達支援計画」を策定するなど小規模事業者の各種経営支援を実施したほか、仙台七夕まつり・東北六魂祭・仙台初売り等、まつり・イベントの開催を通じて交流人口拡大を推進した。さらに、会議所事業の利用促進を図る「割引クーポン券」の発行など会員増強への取り組みを強化したほか、多様なテーマを設けた会員交流会を実施するなど、会員相互のネットワークづくりや組織基盤強化を図った。

【主な事業活動】

4月	新入会員を対象に会議所事業の利用促進を図る「割引クーポン券」を発行
5月	日本政策金融公庫と創業支援分野で業務提携 「東北六魂祭」を山形市で開催 バスツアー型商談会を開催(5月・8月・9月・11月) 当所公式フェイスブックページを開設
6月	第1回販路開拓塾(5回連続)を開催
7月	震災からの早期復興などの要望を日本商工会議所と連携して実施(7月・3月) 福島応援ツアーを実施(相馬野馬追)
8月	行政若手職員と意見交換する「伊達な風会議」を開催(青年部) 海外取引を促進する「東北食品輸出商談会」を開催
10月	米国で観光・物産フェア「ライジング・トウホク・フードフェア」を初開催 名古屋市で「東日本大震災復興支援報告会」を開催 東北六県商工会議所連合会と連携し「訪韓ミッション」を実施
11月	「埼玉県下商工会議所工業関係者」交流懇談会を実施 外国人観光客受入強化接客セミナーの開催や「おもてなしステッカー」を製作
12月	「年末お客様感謝祭」を実施
3月	「第3回国連防災世界会議」でパブリックフォーラムの開催と防災・復興に関するブースを出展 「医療・介護福祉関連事業所パートナー発掘交流会」を開催



東日本大震災復興支援報告会で今後の連携を誓い合う。右から岡谷愛知県連会長、大村愛知県知事、中村日商専務理事、鎌田会頭



米国で開催された「ライジング・トウホク・フードフェア」では、物産展のほかに東北のまつりのパフォーマンスも披露した



国連防災世界会議おもてなしステッカー(5,000枚作製・配布)



接客セミナーでは、実務者を対象に外国人に対するおもてなしや接客の心得について解説



新入会員を対象にセミナーや講習会などの会員サービスメニューに利用できる割引クーポン券を発行



第3回国連防災世界会議パブリックフォーラムでは、仙台市民会館大ホールに1,200人が詰めかけた



窓口相談に加え、事業所訪問を実施しながら、経営支援や会員増強に努めた(左の車は、愛知県刈谷商工会議所から寄贈された電気自動車)

平成27年度(2015年度)

[概要]

東日本大震災から5年目を迎え、東北復興水産加工品展示商談会を初開催するなど「販路回復・開拓支援事業」の拡大や「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト(平成27年12月に休止)」を実施したほか、国から認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき、経営相談や各種補助金制度申請など域内小規模事業者に寄り添った伴走型支援を実施した。また、東北六魂祭等で培ったネットワークを活用して実施した「ミラノ万博パレード」、北米における観光物産PR事業「ライジング・トウホク・フードフェア」などの各種イベントを通じ、交流人口拡大の推進や東北の観光プロモーションを積極的に実施した。加えて、「杜の都プレミアム商品券事業」や、劇団四季「美女と野獣」仙台公演で配布する「プレミアムマガジン」の発行、地下鉄東西線の開業を記念した「年末お客様感謝祭」等の実施により、地域経済の活性化を図った。さらに、全職員による会員訪問を継続して実施し、会員事業所ニーズの把握とサービスの向上に努めたほか、震災復興・地方創生の実現に向けどのような取り組みを行っていくかを示した「第3期中期ビジョン(平成28~30年度)」を策定した。

[主な事業活動]

4月	「小規模事業者持続化補助金」申請ポイントセミナーを開催
5月	「東北六魂祭」を秋田市で開催
6月	「東北復興水産加工品展示商談会2015」を初開催
7月	杜の都プレミアム商品券(40万セット・48億円)を発売 「イタリアミラノ国際博覧会」のジャパンデーで東北の祭りを披露 震災からの早期復興などの要望を日本商工会議所と連携して実施(7月・2月) 第1回ビジネスマネジャー検定試験を実施 慶長遣欧使節400年・宮城EU協会設立25周年記念訪欧ミッションを実施
8月	戦後復活70回を記念して「仙台七夕まつり」を開催(仙台七夕おもてなし隊結成) 米国で観光・物産フェア「第2回ライジング・トウホク・フードフェア」の開催並びにロサンゼルス第75回二世週祭へ参加 宮城大学と連携協定を締結
10月	東北六県商工会議所連合会と連携し「訪韓ミッション」を実施
11月	「都心エリア活性化 新『学都仙台』提言」を策定 宮城県商工会議所連合会と連携し「福島応援ギフトセット」を制作
12月	第3期中期ビジョン(平成28~30年度)を策定 「仙台のタベ」を東京で開催 地下鉄東西線開業記念「年末お客様感謝祭」を実施 「学生×社会人(仙台若手経営者)しごと交流会」を開催(青年部) 遊休機械無償マッチング支援プロジェクトを休止



東北復興水産加工品展示商談会の会場内では、活発に商談が行われた(来場者4,200人、出展者96社、個別商談会506件)



ミラノ万博では、日本館前に七夕飾り(吹き流し25本)の飾り付けを行ったほか、東北復興祭りパレードには、総勢461人が参加



「杜の都プレミアム商品券」販売の様子(連訪)本商品券の約60%は中小店舗で使用された



愛知県の刈谷商工会議所からは、これまで15回に渡り、多くの機械等を提供いただいた



日商総会で全国の会頭ら約850人に対し、これまでの復興支援に対する御礼と継続支援の必要性を訴える鎌田会頭

平成28年度(2016年度)

[概要]

役員・議員の改選期にあたり、鎌田会頭が再任され3期目がスタート。販路回復・開拓等の取り組みに対しては、「伊達商談会」「東北復興水産加工品展示商談会」の開催をはじめ、「小規模事業者持続化補助金」等の各種補助金制度の活用を促すべく、経営計画の作成支援を実施した。加えて、商品開発に必要な企画・マーケティングなどのノウハウを身に付ける商品開発支援事業「商品企画アカデミー」を実施するなど経営革新を推進した。インバウンド拡大や受入体制強化等に向けては、地域固有の伝統文化「仙台初売り」に着目し、東北大学の協力により、外国人留学生による実体験をSNS等で発信する取り組みを実施したほか、これまでの韓国に加えて台湾へのミッションも開始するなど、交流人口の拡大を図った。また、地域企業の成長とそれを担う若手人材確保のため、初めて「地元企業と大学等の就職情報交換会」を開催し、学生と地元企業のマッチング(地元定着)の促進を図った。災害支援では、4月に発生した熊本地震に、日本商工会議所を通じて義援金を寄贈したほか、当所経営指導員の応援派遣を実施し、8月に発生した台風10号で甚大な被害を受けた久慈に対しても、当所経営指導員の応援派遣を行った。

[主な事業活動]

4月	刈谷商工会議所等と連携した「ずんだを活用した新商品開発事業」がスタート 当所ホームページの全面リニューアル
6月	「東北復興水産加工品展示商談会2016」を開催 「東北六魂祭」を青森市で開催
7月	震災からの早期復興などの要望を日本商工会議所と連携して実施(7月・3月) 東北六県商工会議所連合会と連携し「訪韓ミッション」を実施 東北六魂祭が「全国商工会議所きら輝き観光振興大賞広域連携特別賞」を受賞 ビジネス総合保険の取り扱いを開始
10月	さいたま・福島・秋田商工会議所も参加し「三都市商工会議所工業部会交流会(仙台・米沢・会津若松)」を実施
11月	役員・議員の改選 「地元企業と大学等の就職情報交換会」を初開催 東京新虎まつり「東北六魂祭パレード」を実施 米国で観光・物産フェア「第3回ライジング・トウホク・フードフェア」を開催 「仙台のタベ」を東京で開催 東北大学留学生による「仙台初売り」体験事業の実施
12月	東北六県商工会議所連合会と連携し「訪台ミッション」を実施 「年末お客様感謝祭」を実施 「仙台ショッピングフェスティバル」を開催
1月	商品開発支援事業「商品企画アカデミー」を実施(全7回)



訪韓ミッションでは、日本大使館に対し、韓国政府における水産物輸入全面禁止措置の早期規制撤廃への支援を要請



訪台ミッションでは、今後の観光・ビジネス面での継続的な交流を確認した



就職情報交換会では、地元だけでなく首都圏を含めた学校が参加し、各ブースで企業の採用担当者との活発な意見交換が行われた(学校49校、企業85社)



仙台初売りについて学ぶ東北大学の留学生



東京新虎まつりの六魂祭パレードでは、すずめ踊りも披露



商品企画アカデミー最終回では受講者がオリジナル溢れる企画案を発表



訪日外国人に対し、商店街でお買い物や文化を楽しんでいただく仙台ショッピングフェスティバルのオープニングセレモニー

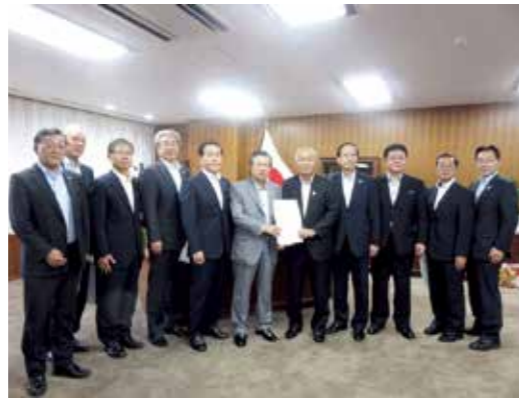
平成29年度(2017年度)

【概要】

第3期中期ビジョンの「企業活力」「地域力」「組織力」の3つの「力」を柱に、日本商工会議所をはじめとした関係機関との連携により、「東北一体」となった地方創生のモデルとなる復興を実現するべく事業推進を図った。特に、中小企業における事業承継や経営革新など様々な経営課題解決のため、国が認定する経営発達支援計画に基づき、企業の成長や持続的発展につながる伴走型支援を推進した。また、「伊達商談会」等による販路開拓・商品開発支援に加え、新入会員、支店長、若手経営者など様々なテーマによる「会員ビジネス交流会」を通年開催し、人脈形成やビジネスパートナー発掘を支援した。さらに、東北六魂祭の後継イベントとして、装いを新たに「東北絆まつり」を当地仙台から再スタートさせるとともに、インバウンド誘致や復興五輪として位置づけられる東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業の参加など、東北六市や東北六県商工会議所連合会とのネットワークを活用した各種事業を通じて、交流人口の拡大、風評払拭、風化防止等を目的に東北の観光プロモーションを積極的に実施した。

【主な事業活動】

4月	仙台塩釜港寄港における大型クルーズ船「セレブリティ・ミレニアム号」の受入
5月	会議所共済「あおば」をリニューアル(加入年齢の引き下げ等)
6月	「東北復興水産加工品展示商談会2017」を開催 東北六魂祭の後継イベント「東北絆まつり」を仙台市で開催
7月	震災からの早期復興・地域経済活性化などの要望を日本商工会議所と連携して実施(7月・3月) 「支店長交流会」を実施(7月・3月)
8月	伊達政宗公生誕450年を記念して「仙台七夕まつり」を開催 東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るため「企業合同物産展仙台JAPAN市」を開催
9月	伊達政宗公生誕450年記念事業「宇和島・松山視察会」の実施
10月	「大規模小売店舗立地検討委員会」を開催(10月・2月)
11月	「接客外国語セミナー」を開催。その後、外国人モニターを店舗に派遣し、外国人接客改善策を提案 「地元企業と大学等の就職情報交換会」を開催
12月	伊達政宗公生誕450年を記念して「年末お客様感謝祭」を実施 東北六県商工会議所連合会と連携し「訪台ミッション」を実施
2月	「バレンタイン婚活パーティー」を開催(女性会)
3月	米国ロサンゼルス流通視察会の実施(卸売商業・交通運輸・小売商業部会)



国の関係省庁などに対し、復興に向けた諸課題への対応を要望(写真:吉野正芳復興大臣への要望)



支店長交流会など、各種交流会の開催を通じて、会員相互の新たな人脈拡大、ビジネスチャンスの創出などを支援



米国の「Amazonフルフィルメントセンター」を視察し、作業を体験する参加者。また、南カルフォルニア日系商工会議所等との交流会も実施



東北絆まつりでは、伊達政宗公をデザインした青森ねぶたが参加するなど、東北六市の祭りや伝統芸能が集結(来場者45万2千人)



東北絆まつりパレードで山鉾から沿道の観客に手を振る鎌田会頭



伊達政宗公生誕450年を記念して開催された仙台七夕まつりは台風の影響もあったが、多くの人出で賑わった。また、市内の七夕飾りには、記念の統一札も掲出された

平成30年度(2018年度)

【概要】

中小企業の持続的な発展を図るため、地元商工業者が抱える様々な経営課題解決のための伴走型支援や多様なパイヤーとの商談会の開催、新商品開発事業を通じた国内外への販路開拓支援を展開した。加えて、人手不足解消を図る就職支援事業や大企業承継時代に対応するため「事業承継センター」を開設し相談機能を強化したほか、消費税率引き上げ・軽減税率導入への対応支援及びキャッシュレス化の推進など、社会環境変化に対応しながら生産性・企業活力の向上に取り組んだ。また、仙台的都市力向上と東北が一体となった広域観光の推進を図り、増加傾向にあるインバウンドのさらなる推進に努めるとともに、商店街や飲食業界における外国人観光客の受入環境整備への支援と、震災による風評払拭に向けた事業を展開した。さらに、新たに「仙台活性化まちづくり2030検討委員会」を立ち上げ、2021年からの仙台市総合計画、都市計画マスタープランに向けて地域商工業者の立場から仙台が目指すべき将来像を検討し「中間提言」を策定したほか、第4期中期ビジョン(2019～2021年度)をまとめ、新たに「生産性」「都市力」向上の視点を強化し、地域社会の持続的成長による地方創生の実現を目指していくことを示した。

【主な事業活動】

4月	「事業承継センター」を設置 当所と仙台市、仙台市産業振興事業団3者による事業承継支援に関する連携協定を締結
6月	「東北復興水産加工品展示商談会2018」を開催 「東北絆まつり」を盛岡市で開催
7月	「東北六県商工会議所女性会連合会総会宮城大会」を仙台で開催 震災からの早期復興や中小企業振興などの要望を日本商工会議所と連携して実施(7月・3月)
8月	「仙台活性化まちづくり2030検討委員会」を設置 「西公園こけし塔の存続に関する要望書」を仙台市へ提出
9月	「パソコン教室」の開設 西日本豪雨・北海道胆振東部地震に対する義援金を被災地区商工会議所へ寄贈
10月	七十七銀行と「海外ビジネス支援等に関する協力協定」を締結 「地元企業と大学等の就職情報交換会」を開催(10月・3月) 経営支援員1人を初めて七十七銀行シンガポール駐在員事務所へ1カ月間派遣 仙台市と連携し「定禅寺通活性化検討会」を設立
12月	第4期中期ビジョン(2019～2021年度)を策定 学生向け交流事業「仙台で働こう!」を開催(青年部) 東北六県商工会議所連合会と連携し「訪台ミッション」を実施
2月	学生を対象とした地元人材定着促進事業「地元企業ツアー」を開催(青年部)



事業承継支援に関する連携協定を締結する当所鎌田会頭(左)、仙台市都市市長(中)、仙台市産業振興事業団山本理事長



高速道路や航空会社等のグループ企業のパイヤーを一堂に招聘した集団型商談会を開催



仙台活性化まちづくり2030検討委員会では、都市開発や観光、商業など、様々なテーマにより議論を行った



青年部では仙台の学生に地元企業の魅力や可能性を見いだしてもらおうと、新たに地元企業ツアーを開催



職員の海外派遣では、現地で開催された商談会も訪れ、地元出展企業と海外展開に向けた意見交換を実施(シンガポール)



中小企業のIT化と生産性向上・人材育成の推進を図るために、当所1階にパソコン教室を開設

2019年度(令和元年度)

【概要】

役員・議員の改選期にあたり、鎌田宏会頭が再任され4期目がスタート。中小企業のビジネスチャンスを創出するため、「伊達な商談会」を継続実施するとともに、新たに、展示販売会を通じて消費者の生の声を商品開発に生かす「首都圏商談会」を開催するなど、商品開発力の底上げ支援や会員交流会事業などを展開した。中小企業の伴奏型経営支援を行う中で、消費税率引き上げと軽減税率に対応した「会計・決済ツール」の実体験コーナーを設置し、キャッシュレス決済などIT導入による業務効率化の支援を行ったほか、年度末ごろから全国的に感染が拡大してきた新型コロナウイルス対応では、支援施策説明会の開催やマル経融資特別枠で独自の利子補給制度を設けるなど、資金繰り支援を行った。また、都市力の向上を図るために、定禅寺通エリアのまちづくり推進や都心まちづくりの将来像を提言した「チャレンジシティ仙台」と銘打った5つの指針とアクションプランを提案し、仙台市長へ提出した。加えて、東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、首都圏で開催された関連イベントに積極的に参加するなど、交流人口拡大や受入態勢の拡充に努めた。

【主な事業活動】

4月	会員限定「WEBセミナー」を開催
5月	IT導入支援ブースを当所1階に設置 「キャッシュレス決済導入促進説明会」を開催(3回) 「仙台駅西口エリアのまちづくりに関する意見書」を仙台市長へ提出
6月	「東北復興水産加工品展示商談会2019」を開催 「東北絆まつり」を福島市で開催
7月	震災からの本格復興と地方創生の実現などの要望を日本商工会議所と連携して実施(7月・3月)
8月	「杜の都キャッシュレストウン」事業がスタート
9月	「商品企画アカデミー」の実施(全8回)
10月	仙台活性化まちづくり2030検討委員会でもとめた街づくり最終提言「チャレンジシティ仙台」を仙台市長へ提出 「地元企業と大学等の就職情報交換会」を開催
11月	役員・議員の改選 東北六県商工会議所連合会と連携し「訪台ミッション」を実施 「仙台の夕べ」を東京で開催
12月	会報誌「飛翔」400号を発行 新国立競技場オープニングイベントに東北絆まつりが参加
1月	「全会員交流会」を開催 新型コロナウイルスに関する相談窓口の設置
2月	一般消費者向け展示販売会「東北水産加工品うまいもの市場」をさいたま市で開催 「仙台七夕まつりの今後のあり方検討委員会」を開催
3月	「新型コロナウイルス感染症」対策施策説明会を開催(4回)



日本一買い物しやすい街を目指し、杜の都キャッシュレストウンがスタート



新国立競技場のオープニングイベントでは、仙台すずめ踊りなどを披露する「東北絆まつり」が会場を盛り上げたほか、場外に仙台七夕まつりの吹き流しを飾った



新型コロナウイルス感染症対策施策説明会には、当所の想定より多くの参加者があったため、4回に分けて開催した



仙台活性化まちづくり2030検討委員会でもとめた最終提言「チャレンジシティ仙台」を仙台市長へ提出(左から姥浦委員長、鎌田会頭、郡市長)



「定禅寺通活性化検討会」では定禅寺通エリアの価値向上につながるまちづくりの検討や社会実験を実施



IT導入支援ブースを当所1階に設置した



「うまいもの市場」には多くの来場者が訪れ、東北水産加工品のニーズの高さを再確認した

2020年度(令和2年度)

【概要】

新型コロナウイルス感染症への対策を最大の柱に、仙台商工会議所、みやぎ仙台商工会、仙台市の三者連携による「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」等を通じて、感染防止啓発のステッカー・ポスター・動画等の制作、講演会・勉強会の実施など感染防止と経済循環の両立を図った。中小企業に対しては、給付金・補助金等に関するタイムリーな情報発信および相談対応・申請支援に努めるとともに、日本商工会議所などと連携しながら行政等に対して支援拡充を強力に求めた。コロナ禍における伝統行事として、感染拡大防止の観点から仙台七夕まつりはいち早く中止を決定し次年度につながる代替事業を展開するとともに、仙台初売り等については感染防止対策を講じて実施した。イベント、会議等の縮小・中止が相次ぐ中、当所では部会等をリアルとオンラインを交えたハイブリッド形式で開催するなど、新しい様式を取り入れながら実施した。また、発災から10年を迎えた東日本大震災関連では、引き続き、関係機関への要望や販路回復・開拓支援事業等を通して、復興の完遂に向けた取り組みを展開したほか、当所の活動を記録として残すことなどを目的に10年史を編集した。

【主な事業活動】

4月	新型コロナウイルス感染拡大に伴う「地元中小・小規模事業者への支援に関する緊急要望」を郡仙台市長へ実施 新型コロナウイルス感染症関連支援情報を掲載した月報別冊号(36頁)を作成・配布 「仙台七夕まつり」中止発表(記者会見)
6月	田中復興大臣との意見交換会を実施
7月	宮城県等へ宮城県商工会議所連合会と連携して新型コロナウイルスへの対応強化等を要望 新型コロナウイルス感染症防止対策と地域経済社会活動の両立に向けた特別講演会を実施 オンライン交流会を初開催
8月	「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」開始共同記者会見を実施 「仙台七夕まつり」中止に伴う代替事業を実施
9月	「新商品・新サービス合同プレス発表会」の実施(9月・2月)
10月	「議員懇談会」を開催(10回) 東北六県商工会議所連合会と連携して復興庁などへ中央要望を実施 新しい様式におけるホテル宴席体験・勉強会を開催 創業支援セミナー(5回)を実施
11月	「地元企業と学校との就職情報交換会」を開催 鎌田会頭が震災10年の節目を前に沿岸部被災地域を訪問(7カ所)
12月	「年末お客様感謝祭」を実施 「新入会員交流会」を実施(2回)
2月	「優良従業員、創業・創立記念会員事業所表彰式」を開催
3月	日本商工会議所を通じて、平沢復興大臣へ東日本大震災の復興を要望(オンライン)



新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を増強し、感染防止対策を徹底して各種相談に対応(サポート件数1,204件)



「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」では、ポスター・ステッカー・動画等で感染防止の啓発に努めた



日本商工会議所と復興庁、被災地をオンラインでつなぎ、平沢復興大臣(上段左から2人目)へ観光振興など復興・創生に向けた支援施策を要望



中小企業の発信力を強化する「合同プレス発表会」では、自社の新商品や新サービスをメディアに熱くアピールした



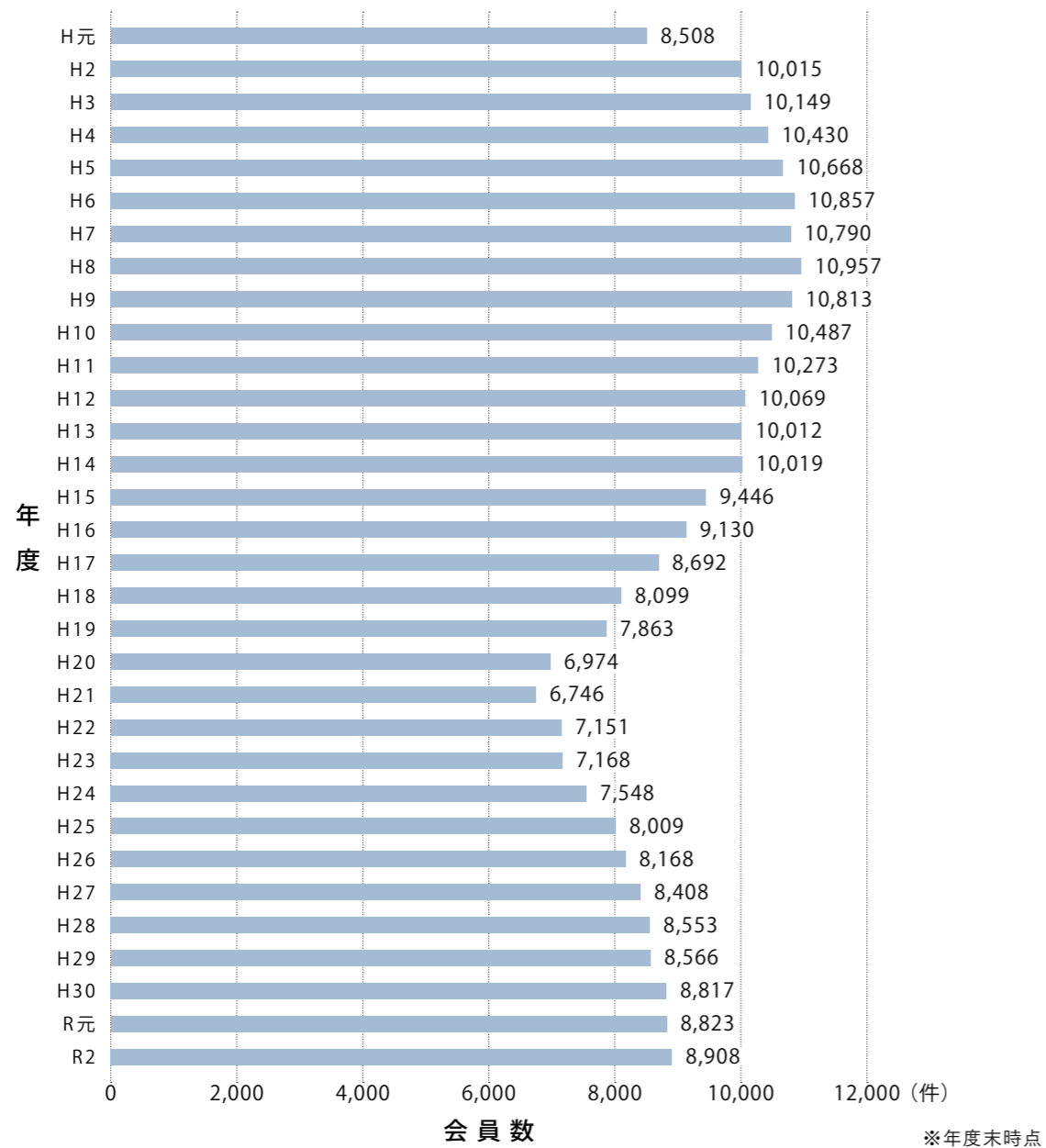
仙台七夕まつりの代替事業では、次回の開催に向けて、店内や軒先にミニ七夕飾り等を飾った



新しいビジネス交流の形として、ビデオ会議アプリを利用し開催したオンライン交流会

3 会員数の推移

(平成元年度～令和2年度)



4 年表

平成4年(1992年)～令和2年(2020年)



年	商工会議所関係(●)	国内外(●)・地域経済・社会(●)
平成4年 (1992年)	10月 ●「仙台商工会議所百年史」を刊行 ●「1日中小企業相談所」を実施 12月 ●「コミネット-VAN高度化研究会」を設置	7月 ●地下鉄南北線が泉中央駅まで延伸 ●山形新幹線が開業 11月 ●在仙台オーストラリア領事館が開設 12月 ●仙台空港2,500m滑走路が供用開始 ●宮城県ソウル事務所が開設
平成5年 (1993年)	2月 ●「東北新幹線盛岡・青森間全線フル規格実現期成会」を設立 4月 ●「交通部会」を「交通運輸部会」と名称変更 5月 ●「不動産部会」を設置 6月 ●皇太子殿下ご成婚記念全市連合大売出し「おめでとうセール」を実施 ●「仙台城長櫓復原準備会」を設立 11月 ●「政令指定都市仙台の街づくり推進協議会」を設置	5月 ●サッカーJリーグ開幕 8月 ●仙台市長に藤井黎氏が就任 11月 ●宮城県知事に浅野士郎氏が就任 12月 ●仙台空港「仙台～香港」定期便が就航
平成6年 (1994年)	10月 ●「不動産規制緩和特別委員会」を設置 ●「仙台国際貿易港利用促進委員会」を設置	3月 ●「仙台東部道路(仙台東～仙台空港)」「仙台南部道路(長町～仙台若林JCT)」が供用開始 9月 ●仙台空港「仙台～北京・大連」定期便が就航 11月 ●仙台空港「仙台～ホノルル」定期便が就航
平成7年 (1995年)	1月 ●仙台初売りを3日から昭和49年以来21年ぶりに2日に変更して開催 5月 ●第21代会頭に齋川慶一郎氏が就任	1月 ●阪神淡路大震災 3月 ●仙台空港及び港湾地域が東北で初めて国の輸入促進地域(FAZ:フォーリン・アクセス・ゾーン)に指定 ●オウム真理教地下鉄サリン事件 10月 ●「みやぎ産業交流センター(夢メッセみやぎ)」がオープン
平成8年 (1996年)	1月 ●仙台初売りを2日から3日に戻して開催(2日・3日分裂開催) 5月 ●「全国七夕サミット」を初開催 ●「仙台城復元委員会」を設置 8月 ●「バーチャルモール推進協議会」を設置	2月 ●仙台国際貿易港「北米・欧州航路」が開設 3月 ●仙台空港国際線新旅客ターミナルビルが完成
平成9年 (1997年)	1月 ●仙台初売りを3日から2日戻して全市的に足並み揃えて開催 4月 ●エキスパートバンク事業を開始 7月 ●「国際ゆめ交流博覧会」を開催 ●「東日本電信電話(株)本社仙台誘致委員会」を設置 8月 ●「仙台21世紀ランドデザイン特別委員会」を設置 11月 ●「徳陽シティ銀行関連特別相談窓口」を設置 12月 ●ホームページを開設	3月 ●仙塩道路の仙台港北IC～利府中IC間が開通 ●秋田新幹線が開業 4月 ●仙台国際貿易港定期航路「北米西岸航路」が開設 ●消費税率が3%から5%に引き上げ 6月 ●七北田公園内に仙台スタジアム完成 11月 ●徳陽シティ銀行営業譲渡 ●「日本・ハワイ経済協議会第26回仙台総会」が開催
平成10年 (1998年)	3月 ●「貿易部会」を設置 8月 ●「仙台都市圏交通サービス検討委員会」を設置 9月 ●「仙台街づくり・活性化検討委員会」を設置 ●「仙台都市圏産業振興策検討委員会」を設置 10月 ●「国際経済交流サミット仙台会議」を開催 11月 ●「仙台都市圏土地利用検討委員会」を設置	2月 ●長野オリンピックが開催 3月 ●仙台空港3,000m滑走路が供用開始 ●インテリジェントビル「アエル」がオープン 7月 ●中心市街地活性化法が施行 11月 ●改正都市計画法が施行

年	商工会議所関係(●)	国内外(●)・地域経済・社会(●)
平成11年 (1999年)	8月 ●「第11回日韓・韓日商工会議所会頭・会長会議」を仙台で開催 12月 ●第22代会頭に村松巖氏が就任	1月 ●ブランメル仙台がベガルト仙台に改称、Jリーグに加盟 ●地域振興券の配布 3月 ●仙台文学館がオープン 5月 ●仙台市の人口が100万人を突破 ●アジアナ航空が仙台～ソウルに国際航空貨物定期便を就航 ●観光ループバス「るーぶる仙台」が運行開始 7月 ●仙台空港運用時間が1時間30分延長(13時間運用)
平成12年 (2000年)	4月 ●「仙台地域商店街等情報化推進協議会」を設置 ●「仙台開府四百年記念事業推進協議会」を設立 7月 ●「大規模小売店舗立地検討委員会」を設置 9月 ●「婦人会」が「女性会」と名称を変更	3月 ●仙石線仙台地区連続立体交差事業が完成・開通 6月 ●大規模小売店舗立地法が施行 7月 ●2,000円札発行 12月 ●BSデジタル放送が開始
平成13年 (2001年)	1月 ●「経済動向政策委員会」を設置 4月 ●「仙台初売りを考える会」を設置 7月 ●1日商工会議所を初開催 9月 ●「仙台初売りをよりよくする検討会」を設置	4月 ●仙台国際貿易港が特定重要港湾へ昇格し名称も「仙台塩釜港」へと変更 6月 ●仙台塩釜港に水深14m高砂2号岸壁、コンテナターミナルが完成 7月 ●仙台空港運用時間が1時間延長(14時間運用) 8月 ●仙台東部道路・仙台南部道路が全線開通 9月 ●アメリカ同時多発テロの発生 11月 ●ベガルト仙台がJ1昇格
平成14年 (2002年)	2月 ●創立110周年を記念し「創業・創立記念会員事業所表彰式」、「記念演奏会」を実施 ●「東西線沿線まちづくり推進協議会」を設置 4月 ●「元旦通常営業を考える会」を設置 6月 ●「仙台商工会議所青年部」を設立	4月 ●仙台市が韓国・光州広域市と姉妹都市提携を締結 5月 ●仙台北部道路「利府IC～利府しらかし台IC」が開通 ●「第52回国際青年会議所アジア太平洋会議(JCI-ASPAC)仙台大会」が開催 ●サッカーワールドカップに出場するイタリア代表チームが仙台でキャンプ 6月 ●「2002FIFAワールドカップ日韓大会」が宮城スタジアムで3試合開催 12月 ●東北新幹線「盛岡～八戸」が開業
平成15年 (2003年)	10月 ●「仙台ナンバー創設促進協議会」を設立 11月 ●「仙台ブランド推進委員会」を設置	4月 ●「みやぎ仙台商工会」が誕生 8月 ●仙台城址が国史跡指定を受ける
平成16年 (2004年)	4月 ●「せんだい・杜の都親善大使」を初選考 9月 ●「ミュージカルなどを行う劇場整備委員会」を設置 11月 ●第23代会頭に丸森仲吾氏が就任 12月 ●「楽天イーグルス・マイチーム協議会」を設立 12月 ●「年末大売出し」から「年末お客様感謝祭」と名称変更して初開催	5月 ●プロバスケットボール球団「仙台89ERS」が誕生 9月 ●仙台～台湾にエバー航空が定期便を就航 11月 ●プロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」が誕生
平成17年 (2005年)	8月 ●「仙台商工会議所メンバーズローン」を新設 10月 ●仙台ブランド推進委員会で「杜の都・仙台」シンボルマークを作成	8月 ●仙台市長に梅原克彦氏が就任 11月 ●宮城県知事に村井嘉浩氏が就任
平成18年 (2006年)	4月 ●「東北大学雨宮キャンパス跡地に関するまちづくり検討委員会」を設置 ●当所会館の改修・耐震工事を実施(4月～10月) 10月 ●「仙台・宮城デスティネーションキャンペーンプロモーション委員会」を設置	2月 ●仙台～神戸定期便が就航 10月 ●自動車の「仙台ナンバー」が導入

年	商工会議所関係(●)	国内外(●)・地域経済・社会(●)
平成19年 (2007年)	9月 ●「経営革新支援アドバイザーセンター」を設置 12月 ●10月1日以降の入会企業等に対し、その年度の会費を半額にする規約改正を実施	3月 ●仙台空港アクセス鉄道が開業 12月 ●仙台～広州定期便が就航
平成20年 (2008年)	3月 ●宮城県進出企業への情報誌「伊達fan」を発行 5月 ●「地域力連携拠点・事業承継支援センター」を開設 ●「宮城県地域ジョブ・カードセンター」を設置 6月 ●「国分町活性化プロジェクト委員会」を設置 10月 ●「DCで出会える秋の仙台七夕物語」をぶらんどーむ一番町商店街等で開催	3月 ●宮城県が「みやぎ発展税」(法人事業税の超過課税)を導入 9月 ●「三井アウトレットパーク仙台港」オープン ●米国リーマン・ブラザーズ破綻から世界的な金融危機へ 10月 ●「仙台泉プレミアム・アウトレット」オープン 11月 ●AIR DOが札幌～仙台線に新規就航
平成21年 (2009年)	2月 ●「東西線沿線駅周辺まちづくり研究会」を設置 3月 ●仙台まち歩きポータルサイト「ぶらり仙台まちめぐり」を開設 4月 ●定額給付金支給に伴う景気浮揚対策事業「心のおまけキャンペーン」を実施(4月～6月) 12月 ●第1期中期ビジョンを策定(平成22～24年度)	8月 ●仙台市長に奥山恵美子氏が就任
平成22年 (2010年)	2月 ●「東北夏祭りネットワーク」を結成 4月 ●「農工商連携推進室」を設置 7月 ●「環境行動計画」を策定 11月 ●第24代会頭に鎌田宏氏が就任	9月 ●「2010年日本APEC第三回高級実務者会合及び関連会合」の開催 12月 ●東北新幹線八戸～新青森間が開通
平成23年 (2011年)	2月 ●日本商工会議所青年部第30回全国大会「みやぎ・仙台大会」を仙台で開催 3月 ●「復興対策本部」を設置 4月 ●日本商工会議所職員並びに全国商工会議所から派遣経営指導員を受入 ●「東日本大震災災害対策情報」の発行 5月 ●「仙台復興推進委員会」を設置 6月 ●東北学院大学と包括連携に関する協定を締結 ●米国へ「米軍の仙台空港復旧支援に対する感謝状」を贈呈 7月 ●初めての「東北六魂祭」を仙台市で開催 9月 ●「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」が発足 10月 ●「震災復興会員総決起大会」を開催	3月 ●東日本大震災が発生 4月 ●東北新幹線が復旧 ●仙台市地下鉄が全面復旧 6月 ●仙台塩釜港仙台港区のコンテナターミナル業務再開 7月 ●仙台空港再開
平成24年 (2012年)	1月 ●新年祝賀会から「新年のつどい」と名称を変更して開催 3月 ●「東北まつりネットワーク」を結成 ●「東日本大震災の記録と復興の一年の奇跡」を発行 12月 ●第2期中期ビジョンを策定(平成25～27年度)	2月 ●復興庁が発足 12月 ●仙台東部道路 仙台港IC開通
平成25年 (2013年)	2月 ●「仙台まちゼミ」を初開催 4月 ●「伊達な商談会」を初開催 5月 ●「DC春の七夕in仙台・青葉まつり」を実施 6月 ●当所と光州商工会議所(韓国)が友好協定を締結 ●「日韓商工会議所首脳会議」を受入 9月 ●「第45回全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会」を仙台で開催 11月 ●「楽天イーグルス優勝パレード」を実施(日本一・リーグ制覇)	4月 ●仙台～大阪(関空)線新規就航(ピーチアビエーション) 6月 ●仙台～ホノルル線定期便就航 10月 ●慶長遣欧使節出帆400年 12月 ●仙台～バンコク線定期便就航

年	商工会議所関係(●)	国内外(●)・地域経済・社会(●)
平成26年 (2014年)	5月 ●バスツアー型商談会を開催 ●公式フェイスブックページを開設 10月 ●米国で観光・物産フェア「ライジング・トウホク・フードフェア」を初開催	4月 ●消費税率が5%から8%に引き上げ
平成27年 (2015年)	3月 ●「第3回国連防災世界会議」でパブリックフォーラムの開催と防災・復興に関するブースを出展 6月 ●「東北復興水産加工品展示商談会」を初開催 7月 ●杜の都プレミアム商品券(40万セット・48億円)を発売 ●「イタリアミラノ国際博覧会」のジャパンデーで東北の祭りを披露 8月 ●宮城大学と連携協定を締結 12月 ●第3期中期ビジョン(平成28～30年度)を策定	3月 ●第3回国連防災世界会議が仙台で開催 ●常磐自動車道が全線開通 7月 ●仙台うみの杜水族館が開業 12月 ●地下鉄東西線が開業
平成28年 (2016年)	11月 ●「地元企業と大学等の就職情報交換会」を初開催 12月 ●「仙台ショッピングフェスティバル」を開催	1月 ●「マイナンバー制度」スタート 3月 ●北海道新幹線が開業 4月 ●熊本地震 5月 ●「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」が開催 6月 ●仙台～台北線新規就航(週4往復)(タイガーエア台湾) 7月 ●仙台空港が民営化
平成29年 (2017年)	4月 ●仙台塩釜港寄港における大型クルーズ船「セレブリティ・ミレニアム号」の受入 6月 ●東北六魂祭の後継イベント「東北絆まつり」を仙台市で開催	8月 ●伊達政宗公生誕450年 ●仙台市長に郡和子氏が就任
平成30年 (2018年)	4月 ●「事業承継センター」を設置 8月 ●「仙台活性化まちづくり2030検討委員会」を設置 9月 ●「パソコン教室」を開設 10月 ●七十七銀行と「海外ビジネス支援等に関する協力協定」を締結 12月 ●第4期中期ビジョン(2019～2021年度)を策定	4月 ●仙台～出雲線新規就航(フジドリームエアラインズ) 9月 ●北海道胆振東部地震
令和元年 (2019年)	8月 ●「杜の都キャッシュレストウン」事業がスタート 12月 ●国立競技場オープニングイベントに東北絆まつりが参加	5月 ●元号が「令和」に改元 8月 ●仙台～名古屋線新規就航(エアアジア・ジャパン) 10月 ●仙台～バンコク線再開 ●消費税率が10%に引き上げ・軽減税率導入 11月 ●仙台～大連・北京線再開
令和2年 (2020年)	3月 ●「新型コロナウイルス感染症」対策策説明会を開催(4回) 4月 ●新型コロナウイルス感染拡大に伴う「地元中小・小規模事業者への支援に関する緊急要望」を仙台市長へ実施 8月 ●「仙台七夕まつり」中止 ●新型コロナウイルス感染症対策「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」を開始 10月 ●新しい様式におけるホテル宴席体験・勉強会を開催 11月 ●鎌田会頭が震災10年の節目を前に沿岸部被災地を訪問(7カ所)	1月 ●新型コロナウイルス感染者が日本で初確認 2月 ●東北の新型コロナウイルス感染者が仙台市で初確認 3月 ●常磐線が全線運転再開 ●東京オリンピック聖火が日本到着(航空自衛隊松島基地) 4月 ●新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令(7都道府県)4/7～5/25 7月 ●経済支援策(観光分野)「GO TO トラベル」開始 11月 ●経済支援策(飲食分野)「GO TO イート」が宮城県で開始

仙台商工会議所創立130周年記念史

仙台商工会議所130年の歩み

発行／仙台商工会議所

〒980-8414 宮城県仙台市青葉区本町2-16-12

電話 022-265-8181

発行日／2021年10月

参考文献・資料：仙台商工会議所百年史
仙台商工会議所 月報飛翔

編集・制作協力：河北新報社

印刷・製本：株式会社ユーメディア



〒980-8414 宮城県仙台市青葉区本町2-16-12

TEL 022-265-8181 FAX 022-217-1551

<https://www.sendaicci.or.jp/>